かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略 アクションプラン進行管理表 (H28.9 月末現在)

かすみがうら市 地方創生・事業推進担当

かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン進行管理表《目次》

●表の見方	
◆表の見方	1
●達成状況等一覧	
◆成果目標達成状況 ⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯	5
◆施策の重要業績評価指標 (KPI) 達成状況及び取り組み進捗状況 (平成 28 年度)	6
◆達成(進捗)状況一覧1	10
◆達成(進捗)状況一覧(施策全体)	12
◆達成(進捗)状況一覧(基本目標1)	13
◆達成(進捗)状況一覧(基本目標2)	13
◆達成(進捗)状況一覧(基本目標3)	14
◆達成(進捗)状況一覧(基本目標 4)	14
●基本目標 1 : かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	
◆第1次産業の活性化	
○1-1-1 農業公社等の設立支援	15
○1-1-2 法人(企業等)の参入支援	19
○1-1-3 新規就農・就漁者への支援	23
○1-1-4 地産地消の推進	27
◆6次産業化の推進	
○1-2-1 販路の拡大	31
○1-2-2 付加価値のある加工品の開発	35
◆新たな企業進出の支援	
○1-3-1 積極的な企業誘致	39
○1-3-2 窓口の一本化	43
○1-3-3 都市計画区域の見直し	47
○1-3-4 インフラ整備	49
◆創業・起業の支援	
○1-4-1 創業・起業の推進	51
◆就業環境の改善促進	
○1-5-1 女性の活躍できる場づくり	55
●基本目標2:地域の魅力を磨き新しい人の流れをつくる	
◆スポーツによる地域活性化	
○2-1-1 自然環境を活かしたスポーツイベント開催	59
○2-1-2 ハード面でのサイクリング・トレッキング環境の充実	63
◆体験型観光の推進	
○2-2-1 体験型観光の推進	67
○2-2-2 新たな「食」メニューの開発	71
○2-2-3 リピーターの確保	75

♦Uターンス	定住の推進	
○2-3-1	子どもたちへ地域の魅力(良さ)を伝える	79
○2-3-2	住居の確保	83
●基本目標3	: 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
◆結婚・子育	育て支援の充実	
○3-1-1	婚活支援	87
○3-1-2	成婚定住者への助成	91
○3-1-3	妊婦等への助成	93
○3-1-4	子育て支援の充実	95
◆教育環境 <i>(</i>	の充実	
$\bigcirc 3-2-1$	特色ある教育の実施	99
○3-2-2	学費負担の軽減	103
○3-2-3	非行防止と健全育成の推進	107
●基本目標 4	:安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	
♦ ⊐ミュニ :	ティの活性化	
04-1-1	コミュニティ活動の拠点の確保及び拡充	111
O4-1-2	地縁的コミュニティの活性化	115
◆新たな拠点	点の整備	
\bigcirc 4-2-1	神立駅周辺の開発	119
O4-2-2	千代田石岡インターチェンジ周辺等の活用	121
O4-2-3	情報発信のための拠点づくり	123
O4-2-4	廃校の活用	127
◆災害に備え	えたまちづくり	
O4-3-1	防災体制の拡充	131
○4-3-2	災害マップづくり(危険箇所・災害発生時の避難等)	135
◆環境に配慮	慮した暮らしやすい環境づくり	
O4-4-1	住居の確保(再掲)	139
O4-4-2	エネルギーの地産地消	143
O4-4-3	田舎暮らしの良さ、自然との触れ合いの場の提供	145
◆公共交通ス	ネットワーク等の充実	
04-5-1	通学しやすい環境づくり	147
$\bigcirc 4-5-2$	生活利便性の向上	151

【表の見方】

基本目標 1	達成度			目標値(H31)	
本个口保 I	2	5% 50	0% 7	' 5%	日保胆(ハリ)
	20. 0%				新規雇用者数 30 人
ムナルギミミナの牡Aナエム	6 人				(現状値:0人)
かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出す		58. 3%			新規就農・就漁者数 12人(年3人)
7		7人			(現状値:3人)
ৰ	35. 4%				湖山の宝推奨品登録数 31 品目
	11 品目				(現状値:11 品目(11 団体 18 品目))

基本目標 2	達成	支 度	目標値(H31)
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	25% 50	75%	日保胆(1131)
地域の魅力を磨き、新しい人		98. 4%	交流人口 307,000 人
の流れをつくる		301,990 人	(現状値: 278, 647 人+28, 353 人増)

『上段』

◇基本目標の成果指標に対する達成度を割合で表示している。

『下段』

◇実績値を表示している。

第1次産業の活性化	25	% 50	0% 7	5%	KPI (H31)
<u>1-1-1</u>					典業八社等の記さに向けた取り組み
農業公社等の設立支援					農業公社等の設立に向けた取り組み 進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)
取り組み進捗状況		50.0%			進抄率 30%(万円任・取り組みの検討)
<u>1-1-2</u>					
法人(企業等)の参入支援					1 団体以上の参入
取り組み進捗状況		50.0%			
<u>1-1-3</u>		58. 3%			
新規就農・就漁者への支援		7人			新規就農·就漁者数 12 人増
取り組み進捗状況		50.0%			
<u>1-1-4</u>					
地産地消の推進					特産品認証店 4店舗
取り組み進捗状況	40.0%				

『上段』

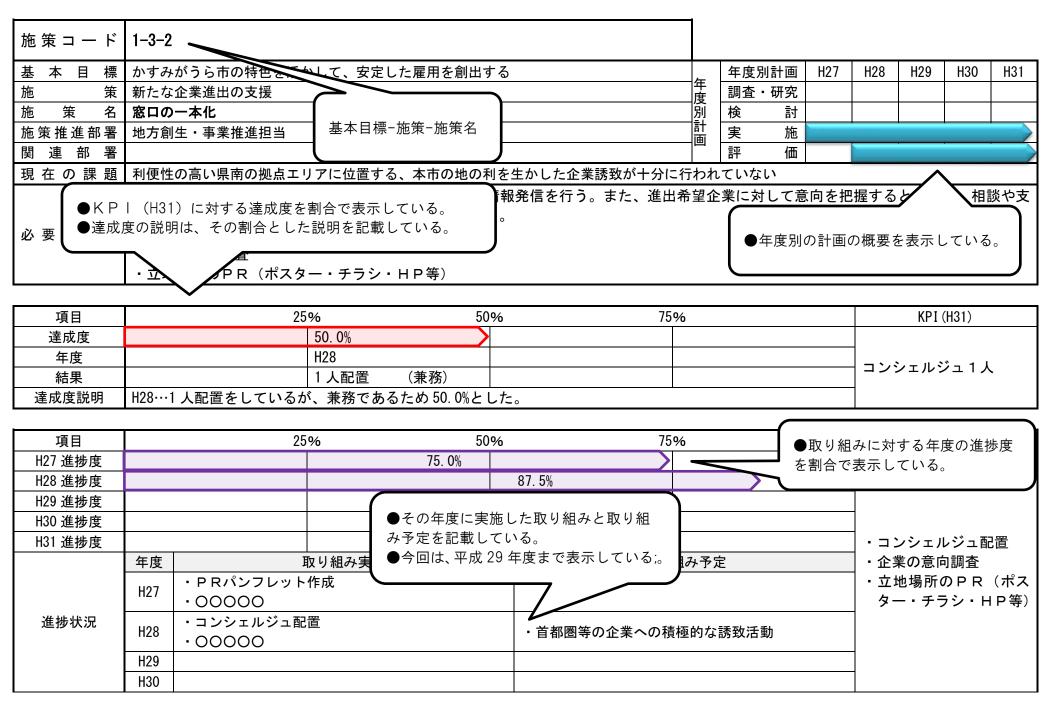
◇KPI(H31)に対する達成度を割合で表示している。

『中段』

◇実績値を表示している。

『下段』

◇平成28年度の取り組みに対する進捗度を割合で表示している。



説明	H31 H27…〇〇〇〇〇 (地方創生先行型交付金) H28…〇〇〇に取り だが、〇〇〇が未写						●総合! してい:		間内の取	又り組み	y項目 <i>σ</i>	ン工程概	要を表	示
							1	_	_		1			
項目	●その年度の取り組み計画に対す	· z '# #	<u> </u>	平成 2	9年度			平成3	0年度			平成3	1 年度	
	₄₋₆ ●その年度の取り組み計画に対す 	る進沙及を	4-6	7–9	10-12	1–3	4–6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1–3
実施	●平成 27 年度については、先行	刊态什全活田												\rightarrow
企業訪問	事業のみ記載している。	主人的亚加州												
企業立地実務研修	■ ●説明は、その割合とした説明を	記載してい												
0000	a .													
年 度	(Plan) 取租計画	(DO) 美施区	内容・約	課		● K E	OI (H	21) /-	対する遺	幸	た割合っ	で丰テリ	ている	
平成27年度	【地方創生先行型交付金活用】	[内容]							バッる! には、-				ン C いる	0
		・企業誘致やシ					ц с O.6		1016	(1)	7, O C	V 1000		
		てのPR用/	バンフレ	ットの作	成		7) - + + +					
		.00000												
<i>-</i>		[#+ B]				0.0	%	2.19	企業の情報	ŧIX				
→ π + 00		[結果]	7 11	<i>U</i> - +		0.0		換の場	企業の情報 づくり	ŧ∇ (
	年度の状況(見込含む)を記載して	・PR用パン	フレット	作成		0.0		換の場		EQ				
いる。	L	・PR用パン: ・OOOOO	フレット	作成		0.0		換の場		FIX				
いる。 ●平成 29	年度取組計画については、現時点で 第0	・PR用パン: ・OOOOO D [内容]	· 			0.0		奥の場		- IX				
いる。 ●平成 29	年度取組計画については、現時点で # <i>0</i> 記載している。	・PR用パン: ・OOOOO) [内容] ・コンシェル:	· 			0.0	***************************************	換の場		EIX				
いる。 ●平成 29	年度取組計画については、現時点で f0 記載している。 集を	・PR用パン: ・OOOOO D [内容] ・コンシェル: ・OOOOO	· 			50.0		東の場		etx				
いる。 ●平成 29 の計画を記	年度取組計画については、現時点で #0 記載している。 集を 行い、あっ旋やマッチンフェ	・PR用パン: ・OOOOO D [内容] ・コンシェル: ・OOOOO [結果]	ジュ配置	1名	务)			火の場		etx				
いる。 ●平成 29 の計画を記	年度取組計画については、現時点で f0 記載している。 集を	・PR用パン: ・OOOOO D [内容] ・コンシェル: ・OOOOO [結果]	ジュ配置	1名	務)			奥の場		FIX				
いる。 ●平成 29 の計画を記	年度取組計画については、現時点で #0記載している。 集を たい、あっ旋やマッチン・ ・首都圏等の企業に対し、積極的な誘致に向きな。	・PR用パンプ・OOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOO	ジュ配置	1名	务)			火の場		EX.				
いる。 ●平成 29 の計画を記	年度取組計画については、現時点で #0記載している。 作い、あっ旋やマッチンン・ ・首都圏等の企業に対し、積極的な誘致に向きな 取組みを行う。	・PR用パンプ・OOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOO	ジュ配置	1名	务)			奥の場		EIX				
いる。 ●平成 29 の計画を記 平成 ∠ 0 平反	年度取組計画については、現時点で #0記載している。 集を 行い、あっ旋やマッチン・ ・首都圏等の企業に対し、積極的な誘致に向きた 取組みを行う。 ・専任のコンシェルジュを配置し、企業立地や創	・PR用パンプ・OOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOO	ジュ配置	1名	务)			換の場		EX.				
いる。 ●平成 29 の計画を記 平成 ∠ 0 平反	年度取組計画については、現時点で 等の記載している。 集を 行い、あっ旋やマッチンン・ 首都圏等の企業に対し、積極的な誘致に向きな 取組みを行う。 ・専任のコンシェルジュを配置し、企業立地や倉業等の相談をできるよう体制づくりを行う。	・PR用パンプ・OOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOO	ジュ配置	1名	务)			奥の場		HX.				

【成果目標達成状況】

基本目標 1		達り	 龙 度		目標値(H31)
基本日保 !	25	5% 50	0% 75	5%	日保胆(パン)
	20. 0%				新規雇用者数 30 人
かせながるこまの性色を活か	6 人				(現状値:0人)
かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出す		75. 0%			新規就農・就漁者数 12人(年3人)
7		9 人			(現状値:3人)
ବ		51.6%			湖山の宝推奨品登録数 31 品目
		16 品目			(現状値:11 品目(11 団体 18 品目))

基本目標 2		達成度		目標値(H31)
本个日保 Z	25%	50%	75%	
地域の魅力を磨き、新しい人		101.3%		交流人口 307,000 人
の流れをつくる		311, 142		(現状値: 278, 647 人+28, 353 人増)

基本目標3		達成度			目標値(H31)	
本や口伝り	25	50%	75	5%		
若い世代の結婚・出産・子育		9	4. 2%	\rightarrow		出生数 310 人
ての希望をかなえる		2	92 人			(現状値:308人)

基本目標 4	達	成度		目標値(H31)
基本日保 4	25%	50% 75%		日保胆(パン)
				都市基盤満足度 15%
安心な暮らしを守り、地域と 地域をつなぎ、定住を促進す				居住環境満足度 30%
地域をりなる、定任を促進する				住みやすさ 50%
	77.0%			転入者数/転出者数(25~44歳) 1.0
	0. 77			(現状値:0.80)

※平成27年度実績

【施策の重要業績評価指標 (KPI) 達成状況及び取り組み進捗状況 (平成 28 年度)】

(1) 基本目標1【かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する】

第1次産業の活性化	25			5%	KPI (H31)
<u>1-1-1</u>					農業公社等の設立に向けた取り組み
農業公社等の設立支援					展来公社寺の設立に向けた取り組み 進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)
取り組み進捗状況		66. 7%			生沙平 30m(万円圧・取り温がの検討)
<u>1-1-2</u>					
法人(企業等)の参入支援					1団体以上の参入
取り組み進捗状況		75. 0%			
<u>1–1–3</u>		75. 0%			
新規就農・就漁者への支援		9 人			新規就農・就漁者数 12 人増
取り組み進捗状況		60. 0%			
<u>1–1–4</u>					
地産地消の推進					特産品認証店 4店舗
取り組み進捗状況		57. 1%			
6次産業化の推進	25		0% 7!	5%	KPI (H31)
<u>1–2–1</u>	50. 0				設備 1か所
販路の拡大	3, 113	人			交流人口 2,000 人(交流イベント等参加者)
取り組み進捗状況		60. 0%			
1-2-2	35. 0%				
付加価値のある加工品の開発	7 品目				新商品 20 品目
取り組み進捗状況		60. 0%			
新たな企業進出の支援	25	5% 50	0% 7!	5%	KPI (H31)
<u>1–3–1</u>	25.0 %				本社 1社·本社以外 1社·新規雇用 30 人
積極的な企業誘致	本社以外 1社				新たな設備投資をする企業数 5社
取り組み進捗状況			100. 0%		
1-3-2	50. 0	%			コンシェルジュ 1人
窓口の一本化	1人	(兼務)			
取り組み進捗状況		90.0%			
1-3-3					工専地域 10 斜拡大
都市計画区域の見直し					TIPES IV YOUR
取り組み進捗状況		50.0%			

1-3-4					スマートインター設置に向けた取り組み進捗率50%(方
インフラ整備					向性・取り組みの検討)・新規参入企業 1 社
取り組み進捗状況		50.0%			
創業・起業の支援	25	5% 50	0% 75	5%	KPI (H31)
<u>1-4-1</u>	12. 5%				
創業・起業の推進	7 社				創業・起業 56 社
取り組み進捗状況			100. 0%		
就業環境の改善促進	25	5% 50	0% 75	5%	KPI (H31)
<u>1-5-1</u>					
女性の活躍できる場づくり					託児所設置個所数 5か所
取り組み進捗状況		60.0%			

(2) 基本目標2【地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる】

スポーツによる地域活性化	25	5% 50	0% 7	5%	KPI (H31)
<u>2−1−1</u> 自然環境を活かしたス	1. 1%				交流人口 5,600 人増加
ポーツイベント開催	62 人				講座開講 8回・イベント開催 4回
取り組み進捗状況		66. 7%			開産用語 0回・1・・ンド用催 4回
<u>2−1−2</u> ハード面でのサイクリン					
グ・トレッキング環境の充実					施設1か所
取り組み進捗状況	40. 0%				
体験型観光の推進	25	5% 50	0% 7:	5%	KPI (H31)
<u>2–2–1</u>	16. 1%				
体験型観光の推進	161 人				体験者数 1,000 人
取り組み進捗状況		62. 5%			
<u>2–2–2</u>					
新たな「食」メニューの開発					新規作成 5 食(種類)
取り組み進捗状況	25. 0%				
<u>2–2–3</u>	9. 1%				
リピーターの確保	91 件				登録者数 1,000人
取り組み進捗状況		60.0%			

Uターン定住の推進	25% 50%		0% 7	5%	KPI (H31)	
<u>2-3-1</u> 子どもたちへ地域の魅						
カ(良さ)を伝える					18 歳定住率 維持	
取り組み進捗状況			100. 0%			
<u>2-3-2</u>	20.0%					
住居の確保	4 件				空き家バンク成約数 20件	
取り組み進捗状況		60.0%				

(3) 基本目標3【若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

結婚・子育て支援の充実	25	5% 50	7!	5%	KPI (H31)
<u>3–1–1</u>					
婚活支援					
取り組み進捗状況		83. 3%			 成婚定住者数 10 組
<u>3-1-2</u>					
成婚定住者への助成					
取り組み進捗状況		50.0%			
<u>3–1–3</u>					
妊婦等への助成					満足度・住みやすさ 50%
取り組み進捗状況			100. 0%		
<u>3-1-4</u>					都市公園設置に向けた取り組み
子育て支援の充実					進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)
取り組み進捗状況	42. 9%				
教育環境の充実	25	5% 50	0% 7!	5%	KPI (H31)
<u>3-2-1</u>					
特色ある教育の実施					
取り組み進捗状況		71. 4%			 6 歳~23 歳人口割合 16.8%の維持
<u>3-2-2</u>					
学費負担の軽減					
取り組み進捗状況		66. 7%			
<u>3–2–3</u>					
非行防止と健全育成の推進					地域見守り隊 3団体
取り組み進捗状況		77. 8%			

(4) 基本目標4【安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する】

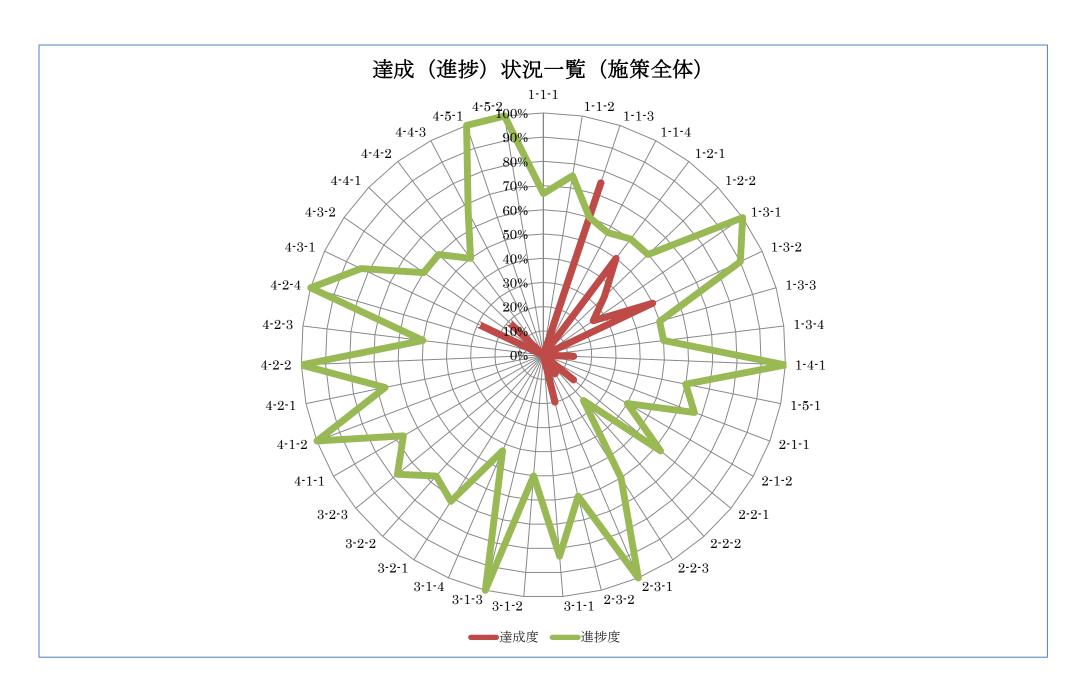
コミュニティの活性化	2	5%	50%	75%	KPI (H31)
<u>4−1−1</u> コミュニティ活動の拠					
点の確保および拡充					
取り組み進捗状況		66. 7%			地域のリーダー育成 40人
<u>4-1-2</u>					地域のケテードが 40人
地縁的コミュニティの活性化					
取り組み進捗状況			100. 0%		
新たな拠点の整備	2	5%	50%	75%	KPI (H31)
<u>4-2-1</u>					用途区域の見直し 1個所
神立駅周辺の開発					
取り組み進捗状況		66. 7%			1年立場へと行って ひった 日 日 1712日 田 1 東 1 9 9 7 7 7 日
<u>4-2-2</u> 千代田石岡インターチ					
ェンジ周辺等の活用					
取り組み進捗状況			100.0%		拠点整備に向けた取り組み
4-2-3					進捗率 50%(方向性・取り組みの検討)
情報発信のための拠点づくり					
取り組み進捗状況		50.0%			
4-2-4					
廃校の活用					6 箇所
取り組み進捗状況			100.0%		1/27 (1)24)
災害に備えたまちづくり		5%	50%	75%	KPI (H31)
4-3-1	30.0%				民間企業消防協力隊 5 団体
防災体制の拡充	団体 6団体	0.0			自主活動実施団体 20 団体
取り組み進捗状況		83. 3%			
<u>4-3-2</u> 災害マップづくり(危険					
箇所・災害発生時の避難等)		00.00/			マップ作成コミュニティ 20 団体
取り組み進捗状況	-	60.0%			VDI (USA)
環境に配慮した暮らしやすい環境づくり		5 %	50%	75%	KPI (H31)
4-4-1 	20.0%				空き家バンク成約数 20件
住居の確保(再掲)	4 件	CO 00/			
取り組み進捗状況		60.0%			

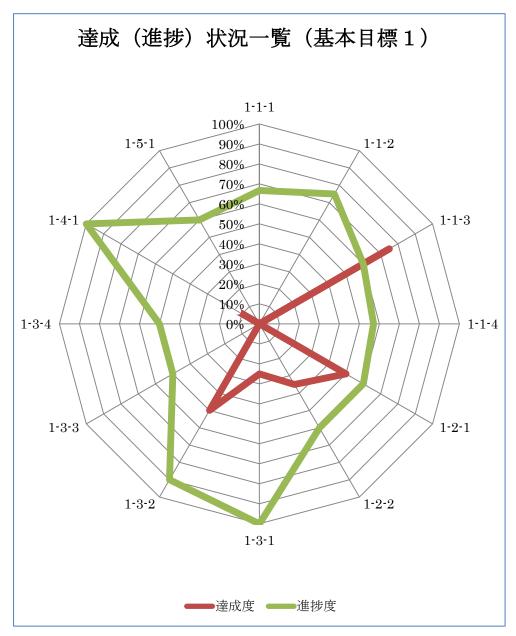
4-4-2エネルギーの地産地消取り組み進捗状況		50.0%			再生可能エネルギー施設 1ヵ所 実験地域の設定 1ヵ所	
4-4-3田舎暮らしの良さ、自然 との触れ合いの場の提供					補助件数 12 件	
取り組み進捗状況		66. 7%			1112311 24 12 11	
公共交通ネットワーク等の充実	2!	5% 50	0% 7:	5%	KPI (H31)	
<u>4–5–1</u>						
通学しやすい環境づくり					6 歳~23 歳人口割合 16.8%の維持(再掲)	
取り組み進捗状況			100. 0%			
<u>4-5-2</u>						
生活利便性の向上					新規バス路線 1路線新設	
取り組み進捗状況			100.0%			

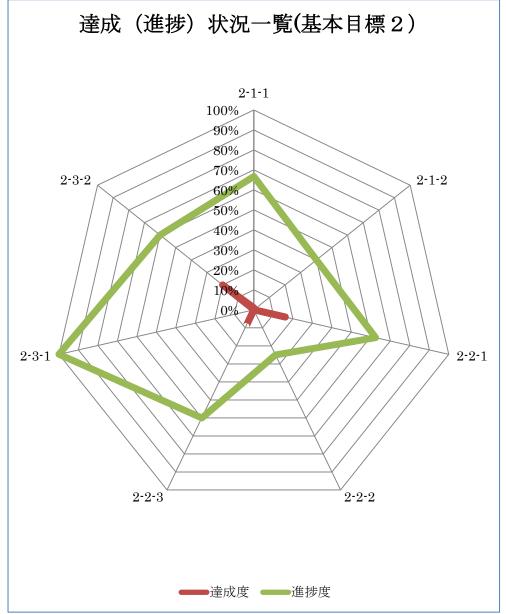
【達成(進捗)状況一覧 1】

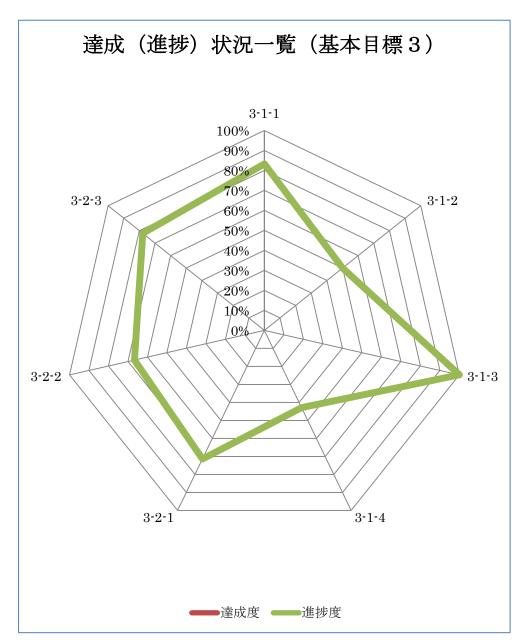
達成(進捗)度		成果目標	K	P I (H31)	施策の取組(H28)			
连风(连抄)及	件数	割合	件数	割合	件数	割合		
0%			27件	69. 2%				
1%~10%			2件	5. 1%				
11%~20%	1 件	11. 1%	4件	10.3%				
21%~30%			2件	5. 1%	1 件	2. 6%		
31%~40%			1 件	2. 6%	1 件	2.6%		
41%~50%			2件	5. 1%	6件	15.4%		
51%~60%	1 件	11.1%			9件	23.1%		
61%~70%					7件	17.9%		
71%~80%	2件	22. 2%	1件	2. 6%	3件	7. 7%		
81%~90%					3件	7. 7%		
91%~100%	2件	22. 2%			9件	23.1%		
その他	3件	33.3%						
合 計	9件		39件		39件			

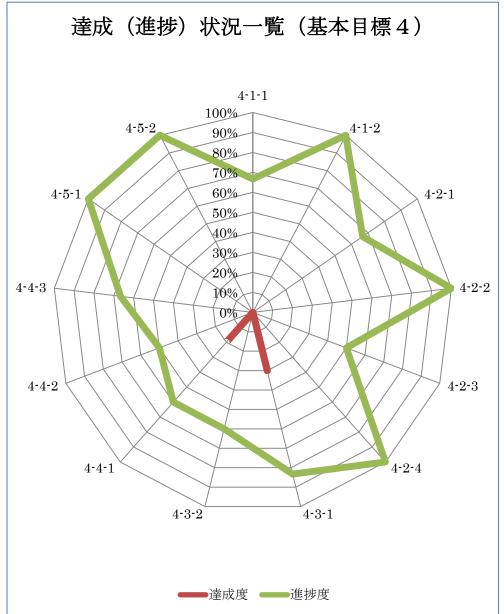
1-1-1 農業公社等の設立支援	2-3-2 住居の確保
1-1-2 法人(企業等)の参入支援	3-1-1 婚活支援
1−1−3 新規就農・就漁者への支援	3-1-2 成婚定住者への助成
1-1-4 地産地消の推進	3-1-3 妊婦等への助成
1-2-1 販路の拡大	3-1-4 子育て支援の充実
1-2-2 付加価値のある加工品の開発	3-2-1 特色ある教育の実施
1-3-1 積極的な企業誘致	3-2-2 学費負担の軽減
1-3-2 窓口の一本化	3-2-3 非行防止と健全育成の推進
1-3-3 都市計画区域の見直し	4-1-1 コミュニティ活動の拠点の確保および拡充
1-3-4 インフラ整備	4-1-2 地縁的コミュニティの活性化
1-4-1 創業・起業の推進	4-2-1 神立駅周辺の開発
1-5-1 女性の活躍できる場づくり	4-2-2 千代田石岡インターチェンジ周辺等の活用
2-1-1 自然環境を活かしたスポーツイベント開催	4-2-3 情報発信のための拠点づくり
2-1-2 ハード面でのサイクリング・トレッキング環境の充実	4-2-4 廃坑の活用
2-2-1 体験型観光の推進	4-3-1 防災体制の拡充
2-2-2 新たな「食」メニューの開発	4-3-2 災害マップづくり
2-2-3 リピーターの確保	4-4-1 住居の確保(再掲)
2-3-1 子どもたちへ地域の魅力(良さ)を伝える	4-4-2 エネルギーの地産地消
	4-4-3 田舎暮らしの良さ、自然との触れ合いの場の提供
	4-5-1 通学しやすい環境づくり
	4-5-2 生活利便性の向上











施策コード	1–1–1								_
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	<i>_</i>	年度	別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	第1次産業の活性化	年度	調査	・研究					
施 策 名	農業公社等の設立支援	別計	検	討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当	計画	実	施					
関連部署	農林水産課 農業委員会 観光商工課 総務課		評	価					
現在の課題	担い手不足や高齢化により、生産活動の縮小が加速化。荒廃農地は増加しており、農業経	営の	抜本的	かな見直	しが求る	められて	こいる。		
必要な対応	市内の荒廃農地等を活用し、計画的・効率的な農業経営を実現するため、農業公社等の設 業機材確保等)を支援する。 ・荒廃農地の解消 ・農地集約・新商品開発 (日本酒等) ・販路拡大の推進(海外輸出・全国うまいもの交流サロン等への参加) ・安定した農産物の提供できる仕組みづくり	立を	・支援し	ン、また	その活	動(商品	品開発、	販路拡	大、農

項目	25	% 50	% 75	%	KPI (H31)
達成度					農業公社等の設立に向けた取組
年度					み 進捗率 0%%⇒50%
結果					※進捗率 50%(方向性・取
達成度説明					り組みの検討)

項目		25	50%	75	5%	必要な対応
H27 進捗度						** · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
H28 進捗度			66. 7%			・荒廃農地の解消
H29 進捗度						・農地集約・新商品開発
H30 進捗度						(日本酒等)
H31 進捗度						・販路拡大の推進(海外輸出・全国うまいもの交流
	年度	I	取り組み実施	取り	組み予定	サロン等への参加)
世 進捗状況	H27	• 農地中間管理機構	受付業務			・安定した農産物の提供
连沙认沉	H28	• 農地中間管理機構	受付業務	・海外プロモーションに	こよる販路開拓調査	できる仕組みづくり
	1120	・販路拡大の推進(金	全国うまいもの交流サロンの活用)	・地域ブランディングの	D推進	ここの圧縮がってう

		・検討機関(勉強会等)の設置及び組織形態等研究・先進事例研究		
	H29		 ・農地中間管理機構受付業務 ・販路拡大の推進 (全国うまいもの交流サロンの活用) ・組織形態等研究 ・先進事例研究 ・海外プロモーションによる販路開拓検討 ・地域ブランディングの推進 	
	H30			
	H31			
説明		反路拡大の推進として、全国うまいもの交流サロン等に 未実施となっているため 66.7%とした。(4 項目÷6 項		

項目	平成27年度				平成28年度				平成29年度			平成30年度				平成31年度				
以 日	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
研究・調査												\rightarrow								
先進地事例研究																				
組織形態研究																				
検討																				\longrightarrow
組織化検討																				
海外プロモーション販路																				
実施																				\longrightarrow
農地中間管理機構受付																				
うまいもの交流サロン																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
		[内容]		・市単独事業の実施な	
		農地中間管理機構の受付業務		ど、主体的な取組み	
平成27年度		[結果]	_	の実施	
		・182 筆(地権者 103 人)、391, 567 ㎡			
		耕作者 25 人、水田活用			
平成28年度	・先進地の事例研究や調査等を行い、本市におけ	[内容]	0.0%	・次年度以降の開催月	・全国うまいもの交流サロンでの消費

	る可能性、方向性(作物・商品)、組織形態の研	・先進地の事例研究	と地域食材の選定	拡大を呼び水とした販路拡大への
	究。観光協会の法人化と連携した取組として検	愛媛県西予市		展開。※実需者へのPRなど
	討する。	地域商社+観光+農産物		
	・荒廃農地等の集約にあたっては、農地中間管理	・農業公社、地域商社、観光協会の各連		
	機構の取組みも踏まえ進めていく。併せて農地	携も含め、勉強会あるいはプロジェク		
	利用集積円滑化団体に、市及びJA土浦がなっ	トチームにより、組織形態を研究す		
	ていることから、団体としての活動を再検討す	る。		
	る。	・全国うまいもの交流サロンの活用		
	・販路拡大にあたっては、ジェトロ茨城と連携す	地域食材を活かしたシティプロモー		
	るなど、海外へ向けた可能性の調査を実施する	ション支援業務		
	ほか、首都圏の全国うまいもの交流サロンなど	・農地中間管理機構の受付業務		
	を活用したPRを実施。	[結果]		
		・しまゆし(9/1~11/30): 約 6,000 人		
		に市産食材を PR		
		・なみへい (9/1~11/30) : 約1,200人		
		に市産食材をPR		
		・320 筆(地権者 114 人)、460, 617 ㎡		
		耕作者 38 人、田・畑活用		
		(10 月末現在)		
	・農業公社、地域商社、観光協会の各連携も含め、			
	勉強会あるいはプロジェクトチームにより、組			
	織形態を研究する。			
	・農地中間管理機構の取り組み推進を引き続き図			
平成29年度	న ం			
	・海外プロモーションによる販路開拓を検討する。			
	・全国うまいもの交流サロンをはじめとする都内			
	飲食店との連携を推進し、販路拡大と併せた地			
	域ブランディングを展開する。			
平成30年度				
平成31年度				

施策コード	1–1–2							
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	7	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策		年 度	調査・研究					
施 策 名	法人(企業等)の参入支援	別計画	検 討					
施策推進部署	政策経営課	計画	実 施					
関連部署	農業委員会		評 価					
現在の課題	担い手不足や高齢化により、生産活動の縮小が加速化。荒廃農地は増加しており、農業経	営の	抜本的な見直	しが求る	められて	いる。		
必要な対応	農地集積バンクを設立し、農地等のあっ旋を行い、新たに農業経営に参入する法人(全・農地の確保(貸付希望者とのマッチング) ・農地集積バンクの設立 ・企業等への農地貸出 ・資金面での支援	企業	等)へ農地貸	出、初	期投資	等への3	支援を行	すう。

項目	25	% 50	% 75	%	KPI (H31)
達成度					
年度					1 団体以上の参入
結果					「団体以上の参入
達成度説明					

項目		25	% 509	6 75	%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度			75. 0%			
H29 進捗度						
H30 進捗度						. 典地の珠伊(岱什圣胡
H31 進捗度						・農地の確保(貸付希望 ・ 者とのマッチング)
	年度	I	取り組み実施	取り	組み予定	有とのマッテング ・農地集積バンクの設立
	H27	·経営規模拡大希望	農家の相談受付			・企業等への農地貸出 - ・
		• 経営規模拡大希望	農家の相談受付			・資金面での支援
進捗状況	H28	• 先進地事例研究		・遊休農地の利用権設定	この仕組みづくりの検討	員並出 (の文法
		•検討機関(勉強会等	等) で方向性及び組織形態の検討	1		
	H29			・検討機関(勉強会等)で	うだった。方向性及び組織形態の検討	
	1129			経営規模拡大希望農家	?等の相談受付	

		・遊休農地について、利用権を設定する任 りの方向性の決定など。 ・遊休農地の所有者への通知	±組みづく
	H30		
	H31		
説明		相談事業、先進地事例研究及び検討機関(勉強会)に取り組んだが、遊休農地利用権設定の仕組みつけが未実施となっているため 75.0%とした。(3 項目÷4 項目=75.0%)	づくりの検

項目	平成27年度					平成2	8年度			平成29年度			平成30年度				平成31年度			
以 日 	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
研究・調査												\rightarrow								
先進事例研究																				
組織形態研究																				
検討																				\rightarrow
方向性の検討																				
組織形態検討																				
組織設立の検討																				
実施																				\rightarrow
農家の相談受付																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action)	改善等
		[内容]		・企業等とのマッチン		
平成27年度		・農業委員が経営規模拡大希望農家の相		グ		
十八乙/十尺		談を受け、売買・賃貸借・使用貸借を				
		実施している。				
	・農業委員が経営規模拡大希望農家の相談を受け、	[内容]		・方向性の決定内容に		
	売買・賃貸借・使用貸借を実施する。	・第2回地域商社協議会へ出席		よって事業の進め		
	・農地中間管理機構における取組との調整を図り	平成 28 年 9 月 30 日		方を再検討する。		
平成28年度	つつ、未利用農地の掘起こしなど、農地の集積	・先進地の事例研究	0.0%			
十八〇十尺	に向けた取組みを実施。	愛媛県西予市	0.0%			
	・企業等が農業へ参入できるよう、農地バンク機	地域商社+観光+農産物				
	能を有した組織設立の検討。	・農業委員が経営規模拡大希望農家の相				
	・遊休農地について、利用権を設定する仕組みづ	談を受け、売買・賃貸借・使用貸借を				

	くりの検討など。	実施している。		
		・農業公社、地域商社、観光協会の各連		
		携も含めた勉強会あるいはプロジェ		
		クトチームの中で、方向性を検討す		
		る。		
		[実績]		
		・ぶどう栽培と太陽光発電事業に株式会		
		社が参入(自社所有地)		
		…1 件 (10, 908 ㎡)		
	・農業公社、地域商社、観光協会の各連携も含め			
	た勉強会あるいはプロジェクトチームの中で、			
	方向性を検討する。			
	・農業委員が経営規模拡大希望農家の相談を受け、			
	売買・賃貸借・使用貸借を実施する。			
	・農地中間管理機構における取組との調整を図り			
	つつ、未利用農地の掘起こしなど、農地の集積			
平成29年度	に向けた取組みの方向性を決定する。			
	・農業委員会で地権者の意向調査結果を農地中間			
	管理機構に情報提供し、農林水産課で土地改良			
	区を中心に事業を推進する。			
	・企業等が農業へ参入できるよう、農地バンク機			
	能を有した組織設立の方向性を決定。			
	・遊休農地について、利用権を設定する仕組みづ			
	くりの方向性の決定など。			
平成30年度				
平成31年度				

施策コード	1-1-3								
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	_	年度是	引計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	第1次産業の活性化	年度別計画	調査	・研究					
施 策 名	新規就農・就漁者への支援	別	検	討					
施策推進部署	農林水産課	計画	実	施					
関連部署	観光商工課 農業委員会 政策経営課 都市整備課		評	価					
現在の課題	担い手不足や高齢化により、生産活動の縮小が加速化。荒廃農地は増加しており、農業経	営の	抜本的	な見直	しが求る	められて	いる。		
必要な対応	新たに就農、就漁を促進するため、体験農業や漁業体験等を実施し、気軽に農漁業にる総合的な支援を実施する。 ・農業体験や漁業体験等の実施(定住・移住促進型クラインガルテン等) ・農業塾の実施 ・融資制度構築(金融機関等との連携) ・経営指導・技術指導の強化 ・生活支援制度創設	触れ	られる	ように	すると	ともに	、就農、	、就漁(こ対す

項目	25%	6 50	% 75	%	KPI (H31)
達成度		58. 3%	75. 0%		
年度		H27	H28		新規就農·就漁者数
結果		7人	2 人		初
達成度説明	H27…7 人÷12 人=58.3%				12 八垣
连队反武功	H28…(7 人+2 人)÷12 人=75	. 0%			
H27 達成度		233. 3%	7人		
H28 達成度	(66.7%・2人			
H29 達成度					
H30 達成度					年3人
H31 達成度					
達成度説明	H27…7 人÷3 人=233.3%				
连队反武功	H28…2 人÷3 人=66.7%				

項目	25	% 50)%	75	%	必要な対応
H27 進捗度						・農業体験や漁業体験等
H28 進捗度		60. 0%		>		の実施(定住・移住促

H29 進捗度				進型クラインガルテン
H30 進捗度				等)
H31 進捗度				・農業塾の実施
	年度	取り組み実施	取り組み予定	▪融資制度構築(金融機
	H27	・新規就農相談		関等との連携)
	1127	・農業学園講座の紹介(技術指導等)		・経営指導・技術指導の
		・新規就農相談	・体験講座等の実施検討	強化
	H28	・農業学園講座の紹介(技術指導等)	・農地や住居のあっ旋(農地中間管理機構や空き家バ	• 生活支援制度創設
		・新規就農・農業担い手発掘推進チームを設置	ンク等の活用など)	
			・農・漁業体験事業や農業塾の実施検討	
進捗状況			・新規就農者に対する、農地や住居のあっ旋(農地中	
			間管理機構や空き家バンク等の活用など)	
	H29		・農家へのアンケート調査の実施(水稲担い手農家	
			及び特に果樹類農家の実態把握や第三者継承及び	
			販路拡大(輸出)意向など)	
			・漁業者の実態・状況把握の実施	
	H30			
	H31			
=7.55	H28…≆		アンケート調査、状況調査が未実施となっているため	
説明). 0%とした。(3 項目÷5 項目=60. 0%)		
	l			

項目		平成 2	7 年度			平成2	8 年度			平成 2	9年度			平成3	0年度		平成31年度			
供	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究												\rightarrow								
体験·塾																				
クラインガルテン																				
融資制度構築																				
生活支援制度																				
アンケート調査																				
実態状況調査																				
検討																\rightarrow				
公社等連携																				
体験·塾																				

クラインガルテン										
融資制度構築										
生活支援制度										
実施準備								\rightarrow		
圃場確保										
体験講座										
事業実施										\longrightarrow
農地中間管理機構										
新規就農相談										
体験·塾										
融資制度構築										
生活支援制度										
新規就農相談										
農業学園講座の紹介										

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action)	改善等
		[内容]		・市単独事業の実施な		
		・新規就農相談支援及び青年等就農計画		ど、主体的な取組み		
平成27年度		に係る認定業務	58. 3%	の実施		
		[結果]				
		・新規就農者数7人(夫婦2組を含む。)				
	・農・漁業体験事業を実施するにあたり、技術指	[内容]				
	導・経営指導者や漁協との調整、圃場の確保を	・新規就農相談支援及び青年等就農計画				
	行う。	に係る認定業務				
	・新規就農者に対する、農地や住居のあっ旋(農地	・農業学園の講座(土浦地域農業改良普				
	中間管理機構や空き家バンク等の活用など)	及センター)の紹介				
平成28年度	・年間を通した体験講座の実施検討。	・県、農協、市の担当で情報共有を図り、	75. 0%			
十八20十尺		3 者連携による体制強化を推進	75.0%			
		[結果]				
		•相談件数:7件				
		認定予定者:2 件(10 月末現在)				
		・市新規就農・農業担い手発掘推進チー				
		ムを設置(H28.8.1)				

	・農・漁業体験事業や農業塾の実施検討に向けた、		
	農協・漁協との調整や技術・経営指導者の確保		
	と併せ圃場等の確保を進める。		
	・新規就農者に対する、農地や住居のあっ旋(農地		
平成29年度	中間管理機構や空き家バンク等の活用など)		
	・農家へのアンケート調査の実施(水稲担い手農		
	家及び特に果樹類農家の実態把握や第三者継承		
	及び販路拡大(輸出)意向など)		
	・漁業者の実態・状況把握の実施		
平成30年度			
平成31年度			

施策コード	1-1-4								
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	+	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	第1次産業の活性化	年 度	調査・	研究					
施 策 名	地産地消の推進	別計	検	討					
施策推進部署	農林水産課 学校教育課 観光商工課 地方創生・事業推進担当	計画	実	施					
関連部署	生涯学習課 健康づくり増進課 環境保全課 子ども家庭課		評	価					
現在の課題	担い手不足や高齢化により、生産活動の縮小が加速化。荒廃農地は増加しており、農業経	営の	抜本的	な見直	しが求る	められて	いる。		
必要な対応	地元農水産品を積極的に取り扱う市内の飲食店に「特産品認証」を交付するとともにまた、学校給食等でも積極的に使用し、子どもたちに市内産物を紹介する。 ・市内農水産物を取り扱う市内飲食店の PR 強化 ・特産品認証の店(飲食店)制度創設 ・学校給食等で市内農水産物の使用 ・地域(かすみがうら市産)ブランド米への取り組み(県推奨品種:ふくまる)	、広 [、]	⟨PRl	し、地	元農水	産品の均	也産地消	∮を推進	する。

項目	25	% 50	75	5%	KPI (H31)
達成度					
年度					特産品認証店 4 店舗
結果					特连加松亚冶 4 冶研
達成度説明					

項目		25%	509	6 75	5%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度			57. 1%			
H29 進捗度						十中典水产物
H30 進捗度						・市内農水産物を取り扱 う市内飲食店の PR 強化
H31 進捗度						・特産品認証の店(飲食
	年度	取り	組み実施	取り	組み予定	・特別には、
	H27					・学校給食等で市内農水
進捗状況	H28	・市産米地域ブランド化	D設置による取り組み検討	特産品認証の店制度構給食への地場産品使用食育、循環型社会の教		産物の使用

	H29	・検討機関(勉強会等)の設置による取り組み検討 ・市内農産物等を扱う飲食店を認証する制度の構築 ・湖山の宝巡りパスポートとの連携検討 ・地産地消レストラン(かすみキッチン) ・市産米地域ブランド化の取り組み ・学校等給食における「市産米ふくまる」の消費拡 大事業の実施 ・「市産米ふくまる」のイベントPR実施 ・「ふくまる」栽培に対する作付け支援の実施
	H31	
説明	H28…交流センターを活用したレストランに取 57.1%とした。(4項目÷7項目=57.1%	取り組んだが、特産品認証の店制度の研究等が未実施となっているため)

西 日		平成 2	7 年度			平成2	8年度			平成2	9 年度			平成3	0 年度			平成 3	1 年度	
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究								\rightarrow												
特産品認証店制度																				
検討												\rightarrow								
特産品認証制度																				
検討機関による検討																				
パスポートとの連携																				
実施準備												\rightarrow								
特産品認証制度構築																				
実施																				\rightarrow
地産地消レストラン																				
ふくまるブランド化																				
ふくまる消費拡大																				
ふくまるイベントPR																				
ふくまる作付け支援																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check) 達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度			_	

				T	
	・市内農産物等を扱う飲食店を認証する制度を構	[内容]			
	築するとともに、湖山の宝巡りパスポートと連	・地産地消レストラン(かすみキッチン)			
	携するなど、認証店に対しては積極的な PR がで	のオープン(7/16)			
	きるよう進めていく。	・施策推進部署及び関連部署で構成する			
	・交流センターを活用し地場産品を使ったレスト	勉強会あるいはプロジェクトチーム			
	ラン事業の実施。	により、給食の取り組みを検討する。			
	・地場産品の学校給食での使用割合を高める取組	・市内農産物を扱う飲食店の認証制度構			
	み。	築のため、先進市町村の事例研究およ			
T-100 F F	・子どもたちを対象とし、地元産物や食育、循環	び検討を実施。	0.00/		
平成28年度	型社会の取組みについて、教育できる場づくり	先進地事例調査	0.0%		
	を進める。	新潟県村上市			
		地産地消協議会の活用			
		認証制度(飲食店)			
		PR 方法			
		・市産米「ふくまる(県推奨品種)」の			
		地域ブランド化の検討及び取り組み			
		を実施。(併せてイベント等での試食、			
		消費拡大宣伝活動を実施)			
	・施策推進部署及び関連部署で構成する勉強会あ			・湖山の宝巡りパスポ	
	るいはプロジェクトチームにより、給食の取り			ートを見直す。	
	組みを検討する。				
	・市内農産物等を扱う飲食店を認証する制度を構				
	築する。				
	・認証店に対しては積極的な PR ができるよう進め				
平成29年度	న _ం				
1	・湖山の宝巡りパスポートとの連携検討				
	・地産地消レストラン(かすみキッチン)				
	・学校等給食における「市産米ふくまる」の消費				
	拡大事業の実施				
	・「市産米ふくまる」のイベントPR				
	・ふくまる栽培に対する作付け支援の実施				
平成30年度	2 2 3 3 3 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3				
平成31年度					
1772 172					

施策コード	1-2-1								
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	-	年度.	別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	6次産業化の推進	年度	調査	・研究					
施 策 名	販路の拡大	別	検	討					
施策推進部署	政策経営課	計画	実	施					
関連部署	観光商工課 農林水産課	1	評	価					
現在の課題	豊富な農水産物を有しているにもかかわらず、首都圏など消費地への PR や販売の面で十分れら地域資源の周知ができていない。	} とに	いえフ	ない状況	₹である	。また、	本市民	に対し [・]	てもこ
必要な対応	市内農水産物の販路拡大を図るため、消費先である首都圏における商品等PRイベン 導入支援を行う。 ・首都圏へのPR(交流イベント等) ・シティプロモーション・交流の推進 ・海外輸出に関する調査検討 ・販売支援共同設備等導入支援	卜等	を実が	色する。	また、	販路拡	大のた	めの設値	備等の

項目		25	% 5	50%	75%	KPI (H31)
達成度		50	0%			
年度	H27	H28				設備1か所
結果	2, 537 人	3, 113 人				交流人口 2,000 人
達成度説明	H27…交流人口 H28…交流人口	(交流イベント等参加者)				

項目		25	% 5	0%	75	%	必要な対応
H27 進捗度					_		・首都圏へのPR(交流
H28 進捗度			60. 0%				イベント等)
H29 進捗度							・シティプロモーショ
H30 進捗度							ン・交流の推進
H31 進捗度							・海外輸出に関する調査
	年度	Į	取り組み実施		取り	組み予定	検討
進捗状況	H27	・首都圏へのPR					・販売支援共同設備等導
	ПДТ	・シティプロモーシ	ョンの推進				入支援

	H28	・首都圏へのPR ・シティプロモーションの推進 ・検討機関(勉強会等)の設置及び組織形態等研究	・海外に向けた可能性調査 ・農水産物保存設備等の購入支援の検討	
	H29		・シティプロモーションの推進 ・首都圏へのPR ・海外に向けた可能性調査 ・組織形態等研究	
	H30			
	H31			
説明	H28…i 備			

項目		平成 2	7 年度			平成 2	8 年度			平成2	9 年度			平成3	0年度			平成 3	1 年度	
块 口	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1–3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1–3
調査・研究												\rightarrow								
組織形態研究																				
検討																				\rightarrow
組織化検討																				
実施																				
首都圏へのPR																				
シティプ・ロモーション																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度		 「内容」 ・首都圏へのPR ・シティプロモーションの推進 [結果] ・交流人口…2,537 人 ※販売個数 1 個を 1 人と推計。 ・日本台湾まつり…380 食 (台東区上野公園・8/1~8/2) (フィッシュ&チップス及び白魚冷水茶漬け・8/1…200 食・8/2…180 食) 	50. 0%	・認知度向上のための取組みの検討	

		・オータムマルシェ…872 パック (千代田区有楽町駅・11/21~11/23) (レンコン・11/21…393 パック・11/22 …207 パック・11/23…272 パック) ・女神まつり…1, 295 (目黒区自由が丘・10/11~10/12) (水産物・10/11…216 個・10/12…315 個) (蓮根豚・10/11…163 個・10/12…340 個) (ブルーベリー・10/11…98 杯・10/12…163 杯) [内容] ・首都圏へのPR ・シティプロモーションの推進 ・農業公社、地域商社、観光協会の各連 携も含め、勉強会あるいはプロジェク			
平成28年度	 ・シティプロモーションの推進を実施し、PRの強化に努める。特にちよだフードバレーネットワークや産業能率大学等との連携を継続し、首都圏でのイベントに参加するなど、本市農水産物の宣伝を実施する。 ・首都圏の「全国うまいもの交流サロン」への参加。 ・販路拡大にあたっては、ジェトロ茨城と連携するなど、海外へ向けた可能性についても調査を行う。 ・収穫した農水産物については、保存技術により出荷の時期を遅らせるなど、商品の付加価値をあげられるような保存設備等の導入に対する支援の検討を行う。 	トチームにより、組織形態を研究する。 [結果] ・交流人口…3,113 人 ※販売個数 1 個を 1 人と推計。 ・自由が丘さくらまつり…200 食 (自由が丘南口九品仏川沿道・4/2) (フィッシュ&チップス…200 食) ・自由が丘スイーツフェスタ…569 食 (自由が丘広小路会場・5/3~5) (トルティーヤ及びパタータドッグ・5/3 …165 食・5/4…159 食・5/5…245 食) ・青山ファーマーズマーケット…124 個 (国際連合大学前広場・6/25~26) (市推奨品「湖山の宝」など…124 個) ・発見!茨城の味覚「かすみがうら湖の幸」…300 人 (西武筑波店・9/4…100 人・9/11…200 人) (パンフレット等配布などによるプロモーション活動)	50. 0%	・認知度向上のための取組みの検討	・実施体制の強化

		<u> </u>		<u> </u>
		• 自由が丘女神まつり…870		
		(自由が丘駅前中央会エリア・10/9~10)		
		(サングリア・10/9…150 杯・10/10…150 杯)		
		(栗・10/9…100 ネット・10/10…50 ネット)		
		(さつま芋・10/9…200 袋・10/10…100 袋)		
		(さつま芋加工品・10/9…80 個・10/10		
		…40 個)		
		・筑波銀行ビジネス交流商談会…50人		
		(つくば国際会議場・10/19…50 人)		
		(パンフレット等配布などによるプロ		
		モーション活動)		
		◎オータムマルシェ…1, 000 個		
		(JR 有楽町駅前広場・11/18~19)		
		(さつま芋及びレンコン・11/18…500		
		個・11/19…500 個)		
	・シティプロモーションを推進し、本市の知名度			
	向上に努める。特にちよだフードバレーネット			
	ワークや産業能率大学等との連携を継続し、首			
	都圏でのイベントに参加するなど、農水産物の			
	宣伝や観光誘客に係るPRを実施する。			
	・首都圏の「全国うまいもの交流サロン」への参			
平成29年度	加。			
	・販路拡大にあたっては、ジェトロ茨城との連携			
	や地域商社事業など、海外へ向けた可能性につ			
	いて調査を行う。			
	・農業公社、地域商社、観光協会の各連携も含め、			
	勉強会あるいはプロジェクトチームにより、組			
	織形態を研究する。			
平成30年度				
平成31年度				
			l	

施策コード	1-2-2								
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	_	年度是	別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	6次産業化の推進	年度	調査	・研究					
施 策 名	付加価値のある加工品の開発	別	検	討					
施策推進部署	観光商工課 農林水産課 地方創生・事業推進担当	計画	実	施					
関連部署	政策経営課 健康づくり増進課		評	価					
現在の課題	豊富な農水産物を有しているにもかかわらず、首都圏など消費地への PR や販売の面で十分れら地域資源の周知ができていない。	うとに	けいえた	ない状況	₹である	。また、	本市民	:に対し [*]	てもこ
必要な対応	市内農水産物の他商品との差別化を図るとともに、収益性の高い商品開発を行う取組特産品「湖山の宝」として育成するとともに、積極的に情報発信を行う。 ・開発支援(大学等との連携、メニュー開発、規格外品の加工商品化) ・生産者の組織化によりブランディング推進 ・新たな加工場や設備の整備に対する支援(助成) ・湖山の宝に関する情報発信強化	み(研究開	月発、 新	ਜ規設備	投資等)を支	援し、	本市の

項目	25	5% 50	% 75	%	KPI (H31)
達成度	10.0%				
年度	H27 H28				新商品 20 品目
結果	2 品 5 品				※湖山ブランド
量 達成度説明	H27…2 品÷20 品=10.0%				太岡田 フラフト
连队反武功	H28…(2 品+5 品)÷20 品=	=35.0%			
H27 達成度	40.0%・2品				
H28 達成度		100.0%	•5品		
H29 達成度					
H30 達成度					年 5 品
H31 達成度					
達成度説明	H27…年5品に対して2品で	·あることから(2 品÷5 品=4	0. 0%)		
连队及武功	H28…年5品に対して5品で	*あることから(5 品÷5 品=1	00.0%)		

項目	25%	509	%	75	%		要な対応
H27 進捗度			100.0%			• 開発支持	爰(大学等との
H28 進捗度		60. 0%		>		連携、ス	^メ ニュー開発、

H29 進捗度				規格外品の加工商品
H30 進捗度				化)
H31 進捗度				・生産者の組織化により
	年度	取り組み実施	取り組み予定	ブランディング推進
	H27	・商品開発支援(地域産品開発) ・ブランディング推進(ブランド認証推進部会)		・新たな加工場や設備の整備に対する支援(助
	H28	・産官学連携による新たな加工品開発支援 ・果樹加工品の開発(DMO推進事業) ・ブランディング推進(ブランド認証推進部会)	・湖山の宝巡りパスポートとの連携 ・加工場や設備整備に対する支援	成) ・湖山の宝に関する情報 発信強化
進捗状況	H29		・産官学連携による新たな加工品開発支援 ・第二創業への支援等6次産業化促進 ・新商品の積極的なPR ・湖山の宝巡りパスポートとの連携検討 ・湖山の宝推奨品の育成 ・湖山の宝に関する情報発信の強化	
	H30			
	H31			
説明	H28…ਜ਼ੋ	商品開発支援(地方創生先行型交付金)及びブランラ 商品開発支援及び果樹加工品開発(地方創生加速化3 の宝に関する情報発信強化が未実施となっているた	で付金)に取り組んだが、新たな向上等に対する支援、湖	

項目		平成 2	7 年度			平成2	8年度			平成2	9 年度			平成3	0年度			平成 3	1 年度	
块 日 	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
検討												\rightarrow								
パスポートとの連携																				
情報発信強化																				
実施																				→
加工品開発支援																				
果樹加工品開発																				
ブランディング推進																				
湖山の宝推奨品育成																				
情報発信強化																				

年度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度	【地方創生先行型交付金活用】 H27 KPI…地域産品開発 2件 ・産官学連携による新たな加工品の商品化に向けた取組みを実施。また、これら取組を実施する	[内容] ・開発の支援 ・農業振興事業(プランド認証推進部会) [結果] ・ドライフルーツ開発 (サンプル5品目) ・湖山の宝推奨品…新規2件・継続なし2件(推奨品総計18件) [内容] ・産業能率大学・筑波銀行との連携事業	10.0%	・製造設備等の整備 ・推奨品の掘り起し ・開発商品の普及 ・湖山の巡りパスポー	・市内飲食店等との連携
平成28年度	事業者に対してのハード支援を行う。 ・地域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業に伴う、果樹を使った加工品の開発、販売 ・新商品については、湖山の巡りパスポートとの連携をするなど、積極的な PR の実施、細かな情報の提供を行う。	・ 作業能学人子・現成銀行との連携事業 パタータドッグの開発 →自由が丘スイーツフェスタで販売 食べるサングリアの開発 →自由が丘女神まつりで販売 ・市HP等により新商品認定について情報提供を実施 ・農業振興事業(ブランド認証推進部会) 湖山の宝推奨品エントリー予定数 5件…10月末現在 ・ バントにおける推奨品 PR 活動の実施	35. 0%	トを見直す。	
平成29年度	・産官学連携による新たな加工品の商品化に向けた取組みを実施。また、第二創業への支援など、6次産業化を促進する。 ・新商品について、各種ツールを使って積極的なPRの実施、細かな情報提供を進める。 ・湖山の巡りパスポートを見直し、連携を図る。 ・湖山の宝推奨品の育成及び認定品の増を図る。 ・湖山の宝に関する情報発信の強化検討				
平成30年度					
平成31年度					

施策コード	1–3–1								
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	/ -	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	新たな企業進出の支援	年度	調査・	研究					
施 策 名	積極的な企業誘致	剜	検	討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当	別計画	実	施					
関連部署	税務課	I	評	価					
現在の課題	利便性の高い県南の拠点エリアに位置する、本市の地の利を生かした企業誘致が十分に行	われ	ていな	い					
必要な対応	現在展開している企業立地促進助成金や空き工場等のあっ旋を図り、市内への新たな: ・企業立地促進助成金の拡充(税制を含めた優遇措置) ・本社移転の場合は現行制度に上乗せ ・工業団地内等において空き工場や空き土地のあっ旋	企業:	進出を	促進す	る。				

項目	25	% 50)% 7	'5%	KPI (H31)
達成度	25. 0%				本社1社
年度	H27				本社以外1社
結果	本社以外 1社				新規雇用 30 人
達成度説明	H27…4 項目のうち 1 項目(ス	本社以外 1 社) 達成のため 25	5%とした。		新たな設備投資をする企 業数5社

項目		25	%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				100.0	0%	•
H28 進捗度				100.0	0%	
H29 進捗度						・企業立地促進助成金の
H30 進捗度						拡充(税制を含めた優
H31 進捗度						遇措置)
	年度	耳	なり組み実施		取り組み予定	・本社移転の場合は現行
進捗状況	H27	・企業立地促進助成 ・固定資産税免除制 ・企業立地促進融資	度			制度に上乗せ ・工業団地内等において 空き工場や空き土地の
	H28	・企業立地促進助成・固定資産税免除制・企業立地促進融資	度			あっ旋

		・空き地、空き工場の情報収集、マッチング ・既立地企業の拠点化支援		
	H29		・企業立地助成金制度の情報発信・固定資産税免除制度・企業立地促進融資利子補給金制度・空き地、空き工場の情報収集、マッチング・既立地企業の拠点化支援	
	H30			
	H31			
説明		区り組み項目を実施しいるため 100.0%とした。 区り組み項目を実施しいるため 100.0%とした。		

項目		平成 2	7 年度			平成 2	8年度			平成 2	9 年度			平成3	0年度			平成 3	1 年度	
- 現 日 -	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
実施																				J
企業立地促進助成金拡充																				
固定資産材免除制度																				
融資利子補給金制度																				
空き工場等のあっ旋																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度	【地方創生先行型交付金活用】 H27 KPI…新規雇用者 7 人 …新規設備投資企業数 2 社	[内容] ・企業立地促進助成金交付 ・固定資産税免除 ・融資利子補給金交付 [結果] ・新規雇用者数6人・設備投資企業1社 設備投資助成 25,382,000円 雇用助成金 1,800,000円 ・固定資産税免除 1社 ・融資利子補給金 1社	25. 0%	・制度の周知・排水施設等インフラの整備	
平成28年度	・本社機能を含めた企業の移転等に対し、これま での助成制度の上乗せを検討し、更なる立地推	[内容] ・固定資産税免除	25. 0%		

	進を進める。	[結果]		
	(本社機能移転の際の上乗せ、投下設備投資額	·固定資産税免除 1 社(継続)		
	上限の緩和など)			
	・工業団地内外の空き地や空き工場の情報収集を			
	行い、あっ旋やマッチングを行う。			
	・現在立地している企業の拡大については、用地			
	の確保に努めるなど引き続き支援を行う。			
	・企業立地助成金制度の情報発信			
	・工業団地内外の空き地や空き工場の情報収集及			
平成29年度	び、あっ旋やマッチングを行う。			
十八乙9十段	・既立地企業の拠点化支援			
	固定資産税免除制度			
	· 企業立地促進融資利子補給金制度			
平成30年度				
平成31年度				

施策コード	1-3-2								
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	/	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	新たな企業進出の支援	年度	調査・	研究					
施 策 名	窓口の一本化	別	検	討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当	計画	実	施					
関連 部署			評	価					
現在の課題	利便性の高い県南の拠点エリアに位置する、本市の地の利を生かした企業誘致が十分に行	われ	ていな	い					
必要な対応	市内の企業立地に適している土地について情報収集、情報発信を行う。また、進出希援手続きをワンストップ化できるよう体制づくりを行う。 ・コンシェルジュ配置 ・企業の意向調査 ・立地場所のPR(ポスター・チラシ・HP等)	望企	業に対	して意	向を把	!握する	ととも	に、相語	談や支

項目	25	% 5	50% 75	i%	KPI (H31)
達成度		50. 0%			
年度		H28			コンシェルジュ 1 人
結果		1人配置 (兼務)			
達成度説明	H28…1 人配置をしているか				

項目		25	50	% 75	5%	必要な対応
H27 進捗度				100. 0%		
H28 進捗度			90.0%			
H29 進捗度						
H30 進捗度						
H31 進捗度						・コンシェルジュ配置
	年度	Į	取り組み実施	取り	組み予定	・企業の意向調査
進捗状況	H27	・PRパンフレット・企業誘致HPの構・企業の意向調査				・立地場所のPR(ポス ター・チラシ・HP等)
	H28	・コンシェルジュ配 ・空き地、空き工場 ・企業訪問(意向調	ー の情報収集、マッチング	・首都圏等の企業への積		

		・企業立地実務研修の受講					
			・コンシェルジュ配置				
	H29		・空き地、空き工場の情報収集、マッチング				
			・企業訪問(意向調査)の実施				
	H30						
	H31						
	H27···I	PRパンフレット作成、企業誘致HPの構築(地方創生	先行型交付金) 及び企業の意向調査に取り組んだため				
説明	10	00.0%とした。					
記しい	H28…空き地、空き工場の情報収集、マッチング及び企業の意向調査に取り組んだが、積極的な誘致活動については						
		·部の実施となっているため 90.0%とした。(4.5項目·	÷5項目=90.0%)				

項目		平成 2	7 年度	年度 平成28年度				平成29年度			平成30年度				平成31年度					
以 日 	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
実施																				\rightarrow
HP構築																				
企業訪問																				
コンシェルジュ																				
企業立地実務研修																				
産業立地研修																				
積極的な企業誘致																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action)	改善等
平成27年度	【地方創生先行型交付金活用】	「内容」 ・企業誘致やシティプロモーションとしてのPR用パンフレットの作成 ・企業誘致・創業支援等専用HPの構築 (空き土地・空き工場の物件情報の提供含む) ・企業の意向調査 「結果」 ・PR用パンフレット作成 ・専用HP開設 ・意向調査…9 社	0.0%	・空き土地・空き工場 登録の掘り起こし ・市内立地企業の情報 交換の場づくり		

		5/19…3 社・6/23…3 社・7/28…3 社		
平成28年度	・コンシェルジュを配置し、企業立地や創業等の相談をできるよう体制づくりを行う。・工業団地内外の空き地や空き工場の情報収集を行い、あっ旋やマッチングを行う。・首都圏等の企業に対し、積極的な誘致に向けた取組みを行う。	 「内容」 ・空き土地、空き工場の物件情報提供 ・コンシェルジュ配置 1 名 ・企業の意向調査の実施 [結果] ・空き土地 3 件 ・コンシェルジュ配置 1 名 (兼務) ・企業立地実務研修の受講 ・意向調査…6 社 (5/20…3 社・7/12…3 社) 	50. 0%	
平成29年度	・専任のコンシェルジュを配置し、企業立地や創業等の相談をできるよう体制づくりを行う。 ・工業団地内外の空き地や空き工場の情報収集を行い、あっ旋やマッチングを行う。 ・首都圏等の企業に対し、積極的な誘致に向けた取組みを行う。 ・企業訪問の実施・企業立地実務研修の受講			
平成30年度				
平成31年度				

施策コード	1-3-3								
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	<i>_</i>	年度別計	画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	新たな企業進出の支援	年 度	調査・研	究					
施 策 名	都市計画区域の見直し	別計	検	討					
施策推進部署	都市整備課	計画	実	施					
関連部署	政策経営課 農林水産課 農業委員会 地方創生・事業推進担当	1	評	価					
現在の課題	利便性の高い県南の拠点エリアに位置する、本市の地の利を生かした企業誘致が十分に行われていない								
必要な対応	神立駅周辺やインターチェンジ周辺など、新たに企業進出が可能となるよう都市計画 ・用途地域見直し(工専地域等の拡大)	の見	直しに関す	よる 検	負討、	県等との	の協議る	を進める) ₀

項目	25	% 50)% 75	i%	KPI (H31)
達成度					
年度					 工専地域 10
結果					工守地域 IO g-ル拡入
達成度説明					

項目		25	%	50%	75	5%	必要な対応
H27 進捗度							
H28 進捗度			50. 0%	>			
H29 進捗度							
H30 進捗度							
H31 進捗度							
	年度	I	なり組み実施		取り	組み予定	
	H27	・既存企業の要望確	認(企業訪問)の実施				・用途地域見直し(工専
	H28	・既存企業の要望確	認(企業訪問)の実施		・都市計画法上の立地市	丁能性調査	地域等の拡大)
進捗状況	H29				・市街化編入の可能性の ・企業訪問(意向調査)		
	H30						
	H31						
説明		既存企業の要望確認に 2項目=50.0%)	取り組んでいるが、立地可	能性記	間査が未実施となっている	ため 50.0%とした。(1 項目	

項目	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度				平成31年度						
块 口	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1–3
調査・研究																				
调宜: 切九																				
立地の可能性																				
企業の要望確認																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度					
平成28年度	・向原工業団地をはじめとした工業専用地域の見直しに向けた取組みを進め、既存企業の敷地拡大等の要望に対応する。 ・既存企業等の要望確認・農振の見直し・工専地域の拡大など	[内容] ・都市計画法に基づく立地の可能性について調査する。 ・工業専用地域の充足率が高いため、市街化調整区域への敷地拡張が可能か調査する。 ・企業の意向調査の実施 [結果] ・市街化調整区域への拡張できる基準が現在のところ無い。また、農振農用地の除外で集団農地の課題がある。	0.0%		
		・意向調査…6 社(5/20…3 社・7/12…3 社)			
平成29年度	・市街化調整区域内における工場立地基準及び工業団地周辺の、市街化編入の可能性の調査を行う。・企業訪問の実施				
平成30年度					
平成31年度					

施策コード	1-3-4								
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	<i>_</i>	年度別	引計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	新たな企業進出の支援	年 度	調査・	研究					
施 策 名	インフラ整備	別	検	討					
施策推進部署	政策経営課	計画	実	施					
関連部署	都市整備課	Ι	評	価					
現在の課題	利便性の高い県南の拠点エリアに位置する、本市の地の利を生かした企業誘致が十分に行	われ	ていなり	い					
必要な対応	市内の遊休地等へ新たな企業進出が想定できる地区については、関係者との協議を進めながら、インフラ等の整備を実施する。 ・立地に必要なインフラについて優先的に整備する。 (スマートインター等の整備)								

項目	25	% 50	75	%	KPI (H31)
達成度					スマートインター設置に向けた取
年度					組み 進捗率 0%⇒50%
結果					※進捗率50%
法代库部四					(方向性・取り組みの検討)
達成度説明					新規参入企業数 1社

項目		25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度					-
H28 進捗度		50. 0%			
H29 進捗度					
H30 進捗度					
H31 進捗度					
	年度	取り組み実施		取り組み予定	・立地に必要なインフラ
	H27				について優先的に整備
	H28	・立地企業の拠点化の推進(企業訪問の実施)		・スマートインター整備に向けた調査研究及び関係 機関との協議	する。(スマートイン ター等の整備)
進捗状況	H29			・スマートインター整備に向けた調査研究及び関係機関との協議 ・立地企業の拠点化の推進(企業訪問の実施)	
	H30				
	H31				

説明 H28…取り組み項目 2 項目中 1 項目の実施となっているため 50.0%とした	:。(1 項目÷2 項目=50.0%)
----------------------------------------------	---------------------

項目	平成27年度			平成28年度		平成29年度			平成30年度				平成31年度							
块 日 	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究																				\rightarrow
関係機関との協議																				
企業訪問の実施																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度			_		
平成28年度	・スマートインター整備に向けた調査・研究、場所の検討や茨城県、関東地方整備局及び NEXCO など関係機関との協議。 ・新規の企業誘致だけでなく、立地企業の拠点化の推進	・年度内に国交省や NEXCO との協議を実施する予定。	0.0%		
平成29年度	・スマートインター整備に向けた調査・研究、場所の検討や茨城県、関東地方整備局及び NEXCO など関係機関との協議。 ・新規の企業誘致だけでなく、立地企業の拠点化の推進				
平成30年度					
平成31年度					

施策コード	1-4-1								
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	/	年度別	引計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	創業・起業の支援	年度	調査・	研究					
施 策 名	創業・起業の推進	別計	検	討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当	計画	実	施					
関連 部署	秘書広聴課 生涯学習課 健康づくり増進課 子ども家庭課		評	価					
現在の課題	雇用の創出を目的とした創生施策に対し、現在は創業に対する支援制度を設けておらず、	本市	への創	業者受	け入れ	態勢が割	とってい	ない。	
必要な対応	地域資源等活用した創業・起業・第二創業を推進するため、相談窓口の設置、セミナーよる支援体制の構築を行う。また、国の制度等を活用しながら、初期投資経費の一部・創業支援事業計画策定による創業支援・相談窓口設置(ワンストップ窓口)・創業塾・講演会・セミナー等の開催・専門家による支援の制度化・事務所のあっ旋・創業支援助成制度創設(H29~)	-			叉(商品	品企画、	販促、	金融等	等に

項目	2	5% 50	7!	5%	KPI (H31)
達成度	12. 5%				創業・起業 56社
年度	H28				(14 社×4 年)
結果	7 社				※相談窓口において相談
達成度説明	H28…7 社÷56 社=12.5%				して創業した件数
H28 達成度		50.0% - 7 社			
H29 達成度					
H30 達成度					年 14 社
H31 達成度					
達成度説明	H28…7 社÷14 社=50.0%				

項目	25	50	75	5%	必要な対応
H27 進捗度					・創業支援事業計画策定
H28 進捗度			100.0%		による創業支援
H29 進捗度					・相談窓口設置(ワンス
H30 進捗度					トップ窓口)

H31 進捗度				・創業塾・講演会・セミ
	年度	取り組み実施	取り組み予定	ナー等の開催
		• 創業支援事業計画策定		・専門家による支援の制
	H27	・大人大学の講座		度化
		・相談窓口設置		・事務所のあっ旋
		・創業支援ネットワーク会議の設置		• 創業支援助成制度創設
		• 相談窓口設置		(H29 ∼)
	H28	・創業啓発講演会の開催		
		・創業支援セミナーの開催		
進捗状況		・創業支援補助制度の実施		
			・創業支援ネットワーク会議の開催	
			・創業相談窓口の設置	
	H29		・創業啓発講演会の開催	
	1129		・創業支援セミナーの開催	
			・空き店舗(事務所)バンク制度構築の検討	
			・専門家支援制度の検討	
	H30			
	H31			
説明	H28…I	取り組み項目(地方創生加速化交付金)を実施し ⁻	ているため 100.0%とした。	

· 古 口	平成27年度				平成28年度				平成2	9年度		平成30年度				平成31年度				
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
検討												\rightarrow								
空き店舗等バンク																				
専門家支援制度																				
実施																				\rightarrow
創業支援ネットワーク																				
創業支援事業計画策定																				
相談窓口設置																				
創業啓発講演会																				
創業支援セミナー																				
創業支援補助制度																				
事務所等のあっ旋																				

専門家支援制度										

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度		 「内容」 ・創業支援事業計画の策定 ・相談業務の開始 H27.2.1~ ・創業支援補助制度創設 ・大人大学「新企画プランナー講座」の開講 (地域の担い手の発掘と育成を目標に 20 代~40 代の若い人を対象に実施。「地元特産の栗の需要を拡大するため新しい事業を企画してみよう!」というテーマでワークショップ形式で実施。) 「結果」 ・創業支援事業計画認定 H28.1.13 ・ O社(2/1~3/31 相談窓口利用創業数) ・ 創業支援事業補助要綱(3/31 告示) ・ 大人大学講座 申込者11人・4回実施 11/13…7人・12/11…4人 1/22…3人・2/19…4人 	_	・創業機運の醸成	
平成28年度	・創業支援事業計画に基づき、創業・第二創業・新事業展開に対する支援(創業支援補助制度)の実施。 ・ワンストップ窓口の確立と支援制度の周知	 「内容」 ・創業支援ネットワーク会議 7月28日・11月17日 ・創業相談窓口設置 ・創業啓発講演会 ・創業支援セミナー H28.10.23~H28.12.18(全6回) ・創業支援補助制度 「結果」 ・創業啓発講演会…12名参加 	12. 5%		

		・創業支援セミナー…受講者 12 名 ・創業支援補助制度 交付決定…新事業展開 2 件 ・7 社 (4/1~9/30 相談窓口利用創業数) 商工会…2・金融公庫…4 保証協会…1		
平成29年度	・創業支援ネットワーク会議の開催 ・創業相談窓口の設置 ・創業啓発講演会の開催 ・創業支援セミナーの開催 ・空き店舗(事務所)バンク制度構築の検討 ・専門家支援制度の検討			
平成30年度				
平成31年度				

施策コード	1–5–1								
基本目標	かすみがうら市の特色を活かして、安定した雇用を創出する	/ -	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施 策	就業環境の改善促進	年度	調査・	研究					
施 策 名	女性の活躍できる場づくり	別計	検	討					
施策推進部署	子ども家庭課 地方創生・事業推進担当 生涯学習課	計画	実	施					
関連部署	秘書広聴課	1	評	価					
現在の課題	女性が就労しやすい環境づくりができておらず、休職などの復帰等がスムーズに行われて	いな	い。						
必要な対応	本市出身の若者(特に女性)がUターンし市内で就職ができるよう、女性が就労しや行う企業を支援する。また、若者(特に女性)に対して、商工会との協働により市内・企業等の託児所設置等の充実・設置補助・若者が就労しやすい環境づくり・市内産業の情報発信や就職セミナー等の開催								等)を

項目	25	% 50	75	5%	KPI (H31)
達成度					
年度					 託児所設置箇所数 5 か所
結果					武元別改直固別数3万別
達成度説明					

項目		25	% 50	79%	5%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度			60. 0%			
H29 進捗度						
H30 進捗度						・企業等の託児所設置等
H31 進捗度						の充実・設置補助
	年度	I	取り組み実施	取り	組み予定	・若者が就労しやすい環
	H27	大人大学の講座				境づくり
進捗状況	H28	・大人大学の講座 ・託児所設置意向調 ・30歳の大同窓会の	査 検討、実施準備、実施	・託児所設置助成制度の ・企業等の雇用情報の場		・市内産業の情報発信や 就職セミナー等の開催
	H29			・労働団体との意見交技 ・託児所設置助成制度の		

		・託児所設置可能性の調査
	H30	
	H31	
説明		大人大学講座及び30歳の大同窓会(地方創生加速化交付金)に取り組んだが、託児所設置助成制度の検討等が
	未	実施となっているため 60.0%とした。 (3項目÷5項目=60.0%)

項目		平成2	7 年度			平成2	8年度			平成2	9 年度			平成3	0年度			平成3	1 年度	
块 日 	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究																				\rightarrow
労働団体等と意見交換																				
就労環境づくり																				
託児所設置意向調査																				
共同設置研究																				
検討																				\rightarrow
企業支援制度																				
情報発信方法																				
就職支援セミナー																				
30歳の大同窓会																				
就労環境づくり																				
実施準備							\rightarrow													
30歳の大同窓会																				
実施																				\rightarrow
大人大学講座																				
大人クラブ																				
若者向け組織の連携等																				
企業支援制度																				
情報発信の取組み																				
就職支援セミナー																				
30歳の大同窓会																				

年 度 (Pla	an) 取組計画 ((Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度]	[内容] ・大人大学「ワーキング・ウーマンライ	_	・企業との連携	

		コのナイキニノコ・コー業 塩人の四二			<u>'</u>
		フのすてきライフ」ミニ講演会の開講			
		・大人大学「あなたの魅惑を再上昇させ			
		るスキルアップ講座」の開講			
		[結果]			
		・「ワーキング・ウーマンライフのすて			
		きライフ」ミニ講演会			
		7/12…参加者数 25 人			
		・「あなたの魅惑を再上昇させるスキル			
		アップ講座」			
		10/23…6 人・11/27…7 人			
		12/18…6 人・1/29…6 人			
	・企業等の託児所設置可能性の調査、助成制度の	[内容]		・実行委員の確保	〇託児所設置
	検討。	・「30歳の大同窓会」の実施		・参加者の確保	・女性職員の多い事業所は、土浦千代
	・若者(特に女性)が就労しやすい環境づくりを進	本年度に30歳になる市内4中学		・準備事務の実施	田工業団地内に位置していること
	めるため、企業等の雇用情報の収集を進める	校卒業生を対象に同窓会を実施。			から、近接性のメリットを生かした
	・女性のための復職支援セミナー等の開催	対象者…450 人		• 託児所設置調査結果	共同設置・共同運営の可能性を引き
	・同窓会をきっかけとして、Uターンを考えている	・託児所設置アンケート実施		から、事業所が単独	続き調査研究する。
	方に対し、地元での就職や起業などのあっ旋・	・大人大学		で、託児所を設置す	
	支援を行うための体制構築を行う。この同窓会	「サリーちゃんの教えるカラオケ講座」		るのは困難。	
	を開催するにあたり、地元に残っている中心と	 「簡単サクサクお手軽ライフ講座」			
	なる人を中心に「呼びかけ隊」を結成、30代の	「ズバリなっとく稲吉神立学」		大人大学講座の内容	
	┃ ┃ 同窓会名簿の作成、企画会社協働による「呼び	・大人クラブ		検討の必要あり。	
平成28年度	┃ ┃ かけ隊」の構築、また、雇用創出のための関係	 20~40 代を対象とした、以前の青	0.0%		
	 者・協力者への調整等を行う。	 年会のような地域の若者の組織「大人		・大人クラブの活動内	
		クラブ」の設立。		容の検討	
		・回答2事業所(未回答1事業所)			
		回答内容			
		│ A社:過去に検討したが、課題が多			
		く実現しなかった。			
		B社:単独設置の予定は無いが、他			
		社との共同設置・運営の検討を行			
		政に要望する。			
		・大人大学			
		- ヘヘヘチ			

		「サリーちゃんの教えるカラオケ講座」		
		5/18…7 人・6/1…8 人・6/29…11 人		
		7/13…10 人・7/196…8 人		
		.,,		
		「簡単サクサクお手軽ライフ講座」		
		①ナチュラルお掃除教室… 6人		
		②簡単アウトドア教室… 8人		
		③プロに教わるゴルフ教室…7人		
		④新感覚 NIGHT 果樹狩り… 13 人		
		「ズバリなっとく稲吉神立学講座」		
		①酒屋から眺める稲吉神立学		
		②電器屋から眺める稲吉神立学		
		③レストランから眺める稲吉神立学		
		④家から眺める稲吉神立学		
		・大人クラブ		
		5月27日設立(会員13人)		
	・託児所設置			
	関係機関との連携を図りながら、土浦千代田			
	工業団地内企業等の託児所設置可能性の調査、			
	助成制度の検討			
	・大人大学、大人クラブ			
T # 0 0 7 F	大人大学から大人クラブへの流れを作る。			
平成29年度	平成 27 年度復活した高校生会(会員 9 人)や			
	自主運営する成人式を目指して毎年組織する成			
	人式実行委員会と絡めた活動に取り組む。			
	中学生ジュニアリーダー⇒高校生会⇒成人式			
	実行委員会⇒大人クラブの流れを作り、最終的			
	には地域に残る、若しくは戻る若者を増やす。			
平成30年度				
平成31年度				

施策コード	2-1-1							
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	_	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	スポーツによる地域活性化	年 度	調査・研究					
施 策 名	自然環境を活かしたスポーツのイベント開催	別	検 討					
施策推進部署	観光商工課 政策経営課 地方創生・事業推進担当	年度別計画	実 施					
関連部署	秘書広聴課 生涯学習課		評 価					
現在の課題	交流人口の増加に対する施策として、現在はエンデューロといったイベントがあるが、そイベントごとの連携(情報共有)が図れていない。	その他	1、地域資源を	活用し	たイベン	ノトが少	ない。	また、
必要な対応	現在実施しているかすみがうらエンデューロでのノウハウを活かし、地域特産品の販促活交流人口の増加を図る。 ・サイクリングプログラムを核とした地域活性化 DMO 推進事業 ①域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業 ②地域の特産物を活かしたレストラン事業 ③フルーツなど地域資源を活用した6次産業化事業 ④地域内での交流を促進するシェアスペース運営事業 ⑤PR 並びに情報発信・広告宣伝、地域での雇用促進・人材育成事業 ⑥データ収集・分析 ・トレッキングイベントの開催	5動と	一体となった	·ツアー:	企画やイ	(ベント	開催を	行い、

項目	25	% 50	7!	5%	KPI (H31)
達成度	1.1%				
年度	H27 • H28				交流人口 5,600 人増加
結果	14 人・48 人				講座開講 8 回
┃ 達成度説明	H27···14 人÷5, 600 人=0. 3%				イベント開催 4 回
连队反武功	H28…(14 人 + 48 人) ÷5,60	0 人=1.1%			
H27 達成度	0. 9%				
H28 達成度	3.0%				交流人口 1,600 人増加
H29 達成度					サイクリング 600 人/年
H30 達成度					トレッキンク゛600 人/年
H31 達成度					イベント 100 人/回
達成度説明	H27…14 人÷1,600 人=0.9%	···14 人)			講座 100 人/2 回
连队反武坍	H28···48 人÷1,600 人=3.0%	(ライドクエスト…27人・レ	ンタサイクル…21 人)		

項目		25	50	%	75%	必要な対応
H27 進捗度			66. 7%			
H28 進捗度			66. 7%			
H29 進捗度						
H30 進捗度						
H31 進捗度						
	年度]	取り組み実施	耳	り組み予定	
	H27	・サイクリングプロ ・トレッキングコー	グラム構築 ·スの整備(ボランティア)	・トレッキングコー	スの調査	
	H28	・地域活性化DMO ・エンデューロの開 ・グルメフェスの開 ・新規サイクリング	催 催	・トレッキングモニ ・アプリ開発の検討	ターツアーの実施	・サイクリングプログラム を核とした地域活性化 DMO 推進事業
進捗状況	H29			・かすみがうらエン 活用したサイクリ ・トレッキングイベ	デューロ・グルメフェスの開催 デューロと連動する地域資源を ングイベントの開催 ントのモニターツアーを実施す の実施に向け準備を進める。 ベントの実施	・トレッキングイベントの 開催
	H30					-
	H31					
説明	ع H28····	:なっているため 66.7 地域活性化DMO推進	%とした。(2項目÷3項目=66	6.7%) 等に取り組んだが、トレッ	ッキングコースの調査が未実施・キングモニターツアー等が未実	

項目		平成 2	7 年度			平成 2	8 年度			平成 2	9年度			平成 3	0年度			平成 3	1 年度	
以 口	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1–3
検討										\rightarrow										
トレッキングコース整備																				
サイクルイヘ゛ント																				
実施準備												\rightarrow								

トレッキング・モニターツアー										
サイクルイヘ゛ント										
実施										\rightarrow
DMO 推進事業										
トレッキングゴツアー										
エンデューロ										
グルメフェス										
サイクルイベント										
カヌー										

年度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度	【地方創生先行型交付金活用】 H27 KPI…モニタリング参加人数 30 人	「内容」 ・地域資源活用サイクリングプログラム等開発業務委託実施 ・トレッキングコースの調査 ・カヌー体験等 ・かすみがうらエンデューロ ・霞ヶ山桜ウォーク 「結果」 ・サイクリングプログラム構築 モニタリング参加者…14人 ・カヌー体験…10回・377人 教室(海洋クラブと連携) 市民向け/ススー教室及び那珂川カヌーツーリング 観光向け/イベントの際のカヌー体験 ・エンデューロ&グルメフェス…約5,500人 エントリー1,145・ケルメフェス…6,764食 ・山桜ウォーク…悪天候により中止	0.3%	・情報発信・PR ・リピーターの確保 ・イベント間の連携	
平成28年度	・地域資源を活用したサイクリングプログラム運営事業 事業実施にあたって民間が主体となり法人の設立を行い、交流センターを拠点とし、関連する	[内容]・かすみがうらエンデューロ・霞ヶ浦まるごとグルメフェス・雪入山桜ウォーク	1. 1%		

	様々な事業を展開する。	・ライドクエストの実施	
	・トレッキングコースの整備を行うほか、モニタ	・新たなサイクルイベントの検討	
	ーツアーの実施をするなど、イベントの実施に	・サイクリング事業へ地域ポイント等を	
	向け準備を進める。	活用する仕組みづくりを検討	
	・パンフの作成、アプリ開発等の検討。	・カヌー体験	
	・かすみがうらエンデューロ・グルメフェスの開	[結果]	
	催	・エンデューロ&グルメフェス…約 4,000 人	
	・サイクリング事業へ地域ポイント等を活用する	エントリー…約 1, 300・グルメフェス…約 4, 000 人	
	仕組みづくりを検討する。	・山桜ウォーク…133 人	
		・カヌ―体験…6 回・358 人	
		教室(海洋クラブと連携)	
		市民向け/カヌー教室及び那珂川	
		カヌーツーリング	
		観光向け/イベントの際のカヌー体験	
		※土浦海洋クラブ(ラクスマリーナ)	
		との連携事業あり	
		・ライドクエスト…27 人(11. 10 現在)	
		・レンタサイクル…21 人(11. 10 現在)	
	・かすみがうらエンデューロ・グルメフェスの開		
	催		
	・かすみがうらエンデューロと連動する地域資源		
	を活用したサイクリングイベントの開催		
┃ 平成29年度	・トレッキングイベントのモニターツアーを実施		
十成29十度	するなど、イベントの実施に向け準備を進める。		
	・新たなサイクルイベントの実施		
	・カヌーについては、従来の事業に加え、土浦海		
	洋クラブ(ラックスマリーナ)との連携による		
	事業も進める。		
平成30年度			
平成31年度			

施策コード	2-1-2								
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	_	年度別	l計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	スポーツによる地域活性化) 住	調査・	研究					
施 策 名	ハード面でのサイクリング・トレッキング環境の充実	剜	検	討					
施策推進部署	観光商工課 政策経営課 地方創生・事業推進担当	計画	実	施					
関連部署			評	価					
現在の課題	交流人口の増加に対する施策として、現在はエンデューロといったイベントがあるが、そ イベントごとの連携(情報共有)が図れていない。	の他	!、地域诊	資源を	活用し	たイベン	ノトが少	ない。	また、
必要な対応	山・湖などの地域資源を活かしたスポーツによる集客を促進するため、安全で快適に利用る施設の整備を行う。 ・案内標識、トイレ、サイクルラックや空気入れ等の施設整備 ・インバウンドに向けた外国語の案内表示、Wi-Fi 等の整備の充実 ・雪入ふれあいの里公園などを拠点としたトレッキングコース・施設の整備	でき	るサイク	クリン	グ・ト	レッキン	ノグコー	スや拠	点とな

項目	25	% 50	75	5%	KPI (H31)
達成度					
年度					施設 1ヶ所
結果					旭設 ケ州
達成度説明					

項目		25	% 509	% 75	5%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度		40. 0%				・案内標識、トイレ、サイ
H29 進捗度						クルラックや空気入れ等
H30 進捗度						の施設整備
H31 進捗度						・インバウンドに向けた外
	年度	Į	取り組み実施	取り	組み予定	国語の案内表示、Wi-Fi
進捗状況	H27	・サイクリングプロ ・トレッキングコー	グラム構築 ス案内標識設置(ボランティア)		等の整備の充実 ・雪入ふれあいの里公園な
连抄扒流	H28	・トレッキングコー ・サイクリングサイ	ス整備及び標識設置 ン整備の実施	・トレッキングコースの ・サイクリング拠点整備 ・インバウンド対応のサ		どを拠点としたトレッキ ングコース・施設の整備

	H29	 ・トレッキングコースのトイレ整備検討 ・トレッキングコース整備及び標識設置 ・サイクリング拠点整備 ・既存施設のイノベーション検討 ・インバウンド対応のサイン整備 ・雪入への林道整備の検討 	
	H30		
	H31		
説明		トレッキングコース整備及び標識設置、サイン整備に取り組んだが、トレッキングコース上のトイレ整備の調研究などが未実施となっているため 40.0%とした。 (2項目÷5項目=40.0%)	

# D		平成 2	7 年度		平成28年度			平成29年度				平成30年度				平成31年度				
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究												\rightarrow								
トイレ整備																				
補助事業の整理																				
案内標識の精査																				
検討																\rightarrow				
トイレ整備																				
施設イノベ検討																				
サイクリング拠点整備																				
実施準備																				→
トイレ整備																				
施設イノベ設計																				
サイン整備設計																				
実施																				\rightarrow
トイレ整備																				
トレッキングコース整備等																				
イベント開催																				
核施設イノベ																				
サイン整備工事																				
サイクリング拠点整備																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度		 [内容] ・地域資源活用サイクリングプログラム等開発業務委託実施(再掲) ・サイクリングコース・イベントプログラムの検討(再掲) ・トレッキングコース案内標識の設置(ボランティアによる設置) [結果] ・サイクリングプログラム構築・雪入探検隊による案内標識設置 	_	・トイレ等訪問者利用 施設の整備	(NOCION) QET
平成28年度	 ・ソフト面の検討に併せて、ハード面として、標識をはじめとした施設(サイン等)、コースの整備を行う。また、サイクリングについては、休憩箇所におけるサイクルラック等の設置やシャワー室、バーベキュー場の整備検討を行う。 ・サイン整備の際にはインバウンド対応を踏まえたものとする。 	 「内容」 ・雪入公園地内登山道の整備工事実施(12月工事予定) ・加速化交付金を活用してサイン整備の設計、一部実施 ・次期再編交付金の活用について検討・サイクリング拠点整備の検討 「結果」 ・雪入探検隊による案内標識設置 	0.0%	・トイレ等訪問者利用 施設の整備	
平成29年度	 ・トレッキングコース上でのトイレ整備を検討。 ・標識をはじめとした施設(サイン等)、コースの整備を行う。 ・サイクリングについては、休憩箇所におけるサイクルラック等の設置やシャワー室、バーベキュー場の整備検討を行う。 ・地方創生推進交付金等を活用した既存施設のイノベーションについて具体的な検討を実施。 ・サイン整備の際にはインバウンド対応を踏まえたものとする。 ・雪入への林道整備について検討。(道整備交付金の林道整備) ・トレッキングコース周辺のトイレ整備について 				

	検討。 ・サイクリング拠点整備の検討		
平成30年度			
平成31年度			

施策コード	2-2-1							
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	_	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	体験型観光の推進	年度 別計	調査・研究					
施 策 名	体験型観光の推進	別	検 討					
施策推進部署	観光商工課	計画	実 施					
関連 部署	農林水産課 政策経営課 生涯学習課		評 価					
現在の課題	観光交流については、インバウンドも含めリピーターとして訪れてもらう施策が必要であ	る。						
必要な対応	本市の強みでもある観光果樹園をはじめ体験型農業、漁業のイベントを開催し、本市の自ではなく、繰り返し訪れたくなるよう、貸農園や宿泊施設(民泊等)の整備を進める。 ・農業体験(観光果樹園含む)、漁業体験の充実 ・体験型農場の整備及び貸農園の整備 ・体験型観光の宿泊場所の整備(民泊等) ・体験型観光マップ、ルートの作成 ・体験イベント(収穫祭等)の開催 ・霞ケ浦の遊覧・筑波山系の散策の機能充実 ・観光協会の法人化の検討 ・筑波山地域ジオパーク構想を活用した地域づくりの連携事業	然資	源や特産品を	知って	もらう。	また、	一時的	な観光

項目	25%	50%	75	%	KPI (H31)		
達成度	8. 3%						
年度	H27 H28						
結果	83 人 78 人				体験者数 1,000 人		
達成度説明	H27…83 人÷1,000 人=8.3%						
连队及就明	H28···161 人(83+78) ÷1,000 人=16.						

項目		25	5%	0%	7	5%	必要な対応
H27 進捗度							・農業体験(観光果樹園含
H28 進捗度			62. 5%				む)、漁業体験の充実
H29 進捗度							・体験型農場の整備及び貸
H30 進捗度							農園の整備
H31 進捗度							・体験型観光の宿泊場所の
進捗状況	年度]	取り組み実施		取り	整備(民泊等)	

	H27	・板橋区交流バスツアー ・JAF自然体験イベント ・ジオガイドの養成		・体験型観光マップ、ルー トの作成 ・体験イベント (収穫祭等)
	H28	・板橋区交流バスツアー ・観光協会法人化に向けた取り組み等の研究 ・ジオパーク協議会事業実施(マップ作成等) ・ジオパーク関連イベントの開催 ・ジオガイドの養成	・遊覧イベントに向けた取り組み ・貸農園、技術指導者等との調整 ・JAF自然体験イベント	の開催 ・霞ケ浦の遊覧・筑波山系 の散策の機能充実 ・観光協会の法人化の検討 ・筑波山地域ジオパーク構
	H29		・板橋区交流バスツアー ・JAF自然体験イベント ・観光協会法人化に向けた取り組み等の研究 ・体験型観光の実施とPR活動。 ・ジオパーク啓発及びイベント開催の検討及び実施	想を活用した地域づくり の連携事業
	H30 H31			
説明	H28···:	坂橋区交流バスツアー等に取り組んだが、遊覧イベ . 5%とした。(5 項目÷8 項目=62. 5%)	 ントに向けた取り組み等が未実施となっているため	

項目		平成 2	7 年度		平成28年度				平成29年度			平成30年度				平成31年度				
以 日 	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究												\rightarrow								
観光協会法人化																				
検討																				$\overset{\bigstar}{}$
観光協会法人化																				
ジオパークの活用																				
実施準備																\rightarrow				
観光協会法人化																				
実施																				\rightarrow
板橋区バスツアート																				
JAF 体験イベント																				
ジオパーク協議会																				
ジオィパーク関連イベント																				
農業体験																				

観光協会法人化										
ジオガイドの養成										

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
		[内容]		• 新規訪問者増加策	
		・果樹農園		・リピーター確保	
		・板橋区交流バスツアー		・ツアー後の展開の取	
		・JAF自然体験イベント		組み	
		・市民学芸員ジオ部会によるジオパーク			
		ガイドの養成と市民向けジオ講座の			
		開講	0.00/		
平成27年度		[結果]	8. 3%		
		・果樹農園…143,000 人(8 月~11 月)			
		・板橋区交流バスツアー…2 回・71 人			
		(6/27…27 人・9/26…44 人)			
		・JAF自然体験イベント…1 回・12 人			
		(3/26)			
		・市民学芸員ジオ部会会員 10人			
	・遊覧イベントの実施に向けた取組み	[内容]		今年度筑波山地域が	
	・観光協会の事業拡大に向け、法人化へ向けた取	・果樹農園		ジオパークに認定に	
	組みを検討。	・板橋区交流バスツアー		なり地域資源の活用	
	・体験型観光を実施していくにあたっては、貸農	・レンタサイクルを活用したジオツアー		の推進が求められて	
	園、技術指導者、圃場等の確保といった調整を	の開催		いる。	
	行う。	・地域資源を活用したジオ関連イベント			
	・筑波山地域ジオパーク推進協議会による、PV や	の開催			
平成28年度	マップの作成(協議会事業として実施)。	・市民学芸員ジオ部会によるジオパーク	16. 1%		
十八 2 0 千尺	・筑波山地域ジオパーク推進協議会による、ジオ	ガイドの養成と市民向けジオ講座の	10. 1/0		
	ツアーの企画及びデモツアー実施(協議会事業	開講			
	として実施)。	[結果]			
		・果樹農園…90,000 人(8 月~9 月)			
		・板橋区交流バスツアー…2 回・78 人			
		(6/25…39 人・9/24…39 人)			
		・市民学芸員ジオ部会会員 10人			
		※10月25日現在			

平成29年度	・観光協会の事業拡大に向け、法人化へ向けた取 組みを検討。 ・体験型観光の実施とPR活動 ・地域資源を活用したジオパークの啓発及びイベ ントの開催について検討及び実施 ・ジオパークガイドの養成		
平成30年度			
平成31年度			

施策コード	2-2-2								
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	/ -	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	体験型観光の推進	度	調査・	研究					
施 策 名	新たな「食」メニューの開発	別	検	討					
施策推進部署	観光商工課	計画	実	施					
関連部署	政策経営課 健康づくり増進課 農林水産課 地方創生・事業推進担当	1	評	価					
現在の課題	観光交流については、インバウンドも含めリピーターとして訪れてもらう施策が必要であ	る。							
必要な対応	本市の特産品を使用した新たな「食」メニューについて、大学や専門家等との協力体制を信を強化するとともに、食の文化祭等の開催による話題づくりを行う。 ・大学や専門家と協力しながら、新たなメニューの開発 ・飲食店マップの作成(SNS を活用した情報発信等) ・地域資源の掘り起こし(食の文化祭、食のコンテスト等)	·構築	しなが	ら開発	を進め	る。ま <i>†</i>	之、首 都	圏への	情報発

項目	25	% 50	75	i%	KPI (H31)
達成度					新祖佐古 C 会 (種類)
年度					新規作成5食(種類) ※地元産品を活用したメニ
結果					→ ュー等の開発
達成度説明					工一寺の開光

項目		25	% 50	% 75	5%	必要な対応		
H27 進捗度						-		
H28 進捗度		25. 0%						
H29 進捗度						・大学や専門家と協力しな		
H30 進捗度						がら、新たなメニューの		
H31 進捗度						開発		
	年度	Į	取り組み実施	取り	組み予定	・飲食店マップの作成(SNS		
	H27					を活用した情報発信等)		
				・市内飲食店マップ作品	或及び湖山の宝巡りパスポ ー	・地域資源の掘り起こし(食		
進捗状況	H28	- しっしニヽ.声光/┏	OMO推進事業)メニュー開発	トとの連携		の文化祭、食のコンテス		
	1120	・レヘトノノ争未 (L 	JMO推進事業/グーユー開発	・大学等と連携した地域	域食材の料理開発	ト等)		
				・料理コンテストの開催	・料理コンテストの開催			
	H29			・大学等と連携した地域	域食材の料理開発			

		・地域食材を使った料理コンテストの開催検討 ・料理コンテスト優秀作品の飲食店での提供検討 ・湖山の宝巡りパスポートとの連携検討	
	H30		
	H31		
説明	成	レストラン事業(DMO推進事業)メニュー開発(地方創生加速化交付金)に取り組んだが、市内飲食店マップ作及び湖山の宝巡りパスポートとの連携や大学等と連携した地域食材の料理開発、料理コンテストの開催が未施となっているため 25.0%とした。(1項目÷4項目=25.0%)	

话 D		平成 2	7 年度			平成 2	8年度			平成2	9 年度			平成3	0年度			平成 3	1 年度	
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究																				\rightarrow
料理コンテスト																				
メニュー開発																				
検討																				\rightarrow
料理コンテスト																				
新メニュー																				
パスポートとの連携																				
実施準備																\rightarrow				
料理コンテスト																				
実施																				\rightarrow
料理コンテスト																				
新メニュー																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度					
	・地域資源を活用したサイクリングプログラム運	[内容]		・湖山の宝巡りパスポ	
	営事業に伴うレストラン事業において、メニュ	・湖山の宝巡りパスポートの見直しを検		一トを見直す。	
	一開発等を行う。	討。			
平成28年度	・市内飲食店マップを作成、「湖山の宝巡りパスポ	・レストラン事業において、メニュー開	0.0%		
	一ト」などを活用し、情報発信を行う。	発等を行う。			
	・大学や専門家と連携した地域食材の料理を開発	[結果]			
	し、様々なコンテンツを利用してPRする。				

	・イベントにあわせ、地域食材を使った料理コン		
	テストを開催、優秀作品を地元の店のメニュー		
	に入れてもらうなど検討する。		
	・湖山の宝巡りパスポートとの連携検討		
	・大学や専門家と連携した地域食材の料理を開発		
平成29年度	し、様々なコンテンツを利用してPRする。		
十八乙9十月	・イベントにあわせ、地域食材を使った料理コン		
	テストの開催を検討、優秀作品を地元の店のメ		
	ニューに入れてもらうなど検討する。		
平成30年度			
平成31年度			

施策コード	2-2-3										
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	<i>_</i>	年度是	引計画	H27	H28	H29	H30	H31		
施 策	体験型観光の推進	度	調査	・研究							
施 策 名	リピーターの確保	別	検	討							
施策推進部署	観光商工課	計画	実	施							
関連部署		I	評	価							
現在の課題	観光交流については、インバウンドも含めリピーターとして訪れてもらう施策が必要であ	る。									
必要な対応	本市の特産品や観光資源などを好きになってもらい、何度も訪れてみたくなるよう「湖山の宝巡りパスポート」のさらなる活用を図り、観光情報の発信やクーポンやポイント制度等のサービス機能の充実を図り、交流の活発化につなげる。 ・湖山の宝巡りパスポートの普及啓発 ・観光情報等の情報発信、スポーツイベントの参加者など、他の施策で得られた情報の共有及び活用										

項目	25	% 50	% 75	%	KPI (H31)
達成度	7. 9%				
年度	H27 H28				
結果	79件 91件				登録者数 1,000 人
達成度説明	H27…79 件÷1,000 人=7.9%				
连队及武明	H28…91 件÷1,000 人=9.1%				

項目		25	% 509	% 75	5%	必要な対応		
H27 進捗度								
H28 進捗度			60. 0%					
H29 進捗度								
H30 進捗度						・湖山の宝巡りパスポート		
H31 進捗度						の普及啓発		
	年度	I	取り組み実施	取り	組み予定	・観光情報等の情報発信、		
	H27	・湖山の宝巡りパス	ポート登録の啓発			スポーツイベントの参加		
進捗状況	H28	・湖山の宝巡りパス ・湖山の宝巡りパス ・サイクリングプロ 広告宣伝事業の実	ポート制度の研究 グラムのPR並びに情報発信	して、湖山の宝巡りん	・様々なイベント、サイクリング、観光等の紹介と して、湖山の宝巡りパスポートを活用 ・観光情報等の共有及び活用			
	H29			・湖山の宝巡りパスポー	-ト登録の啓発			

		・湖山の宝巡りパスポート制度の研究、検討
	H30	
	H31	
	H28···≯	明山の宝巡りパスポート登録の啓発及び制度の研究、調査、検討等、サイクリングプログラムの PR 並びに情
説明	報	発信・広告宣伝(地方創生加速化交付金)に取り組んだが、様々なイベント等の湖山の宝巡りパスポート活用、
	観	光情報等の共有が未実施となっているため 60.0%とした。 (3項目÷5項目=60.0%)

項目		平成 2	平成27年度 平成28年度 平成29年度		平成30年度				平成31年度											
現 日 	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究										\rightarrow										
パスポート																				
検討												\rightarrow								
パスポート																				
実施																				\rightarrow
パスポート																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action)	改善等
		[内容]		・登録制度の見直し		
平成27年度		- 湖山の宝巡りパスポート登録の啓発	7. 9%	・他のイベントとの情		
1		[結果]	,-	報共有		
		新規登録 12 件(登録総数 79 件)				
	・地域資源を活用したサイクリングプログラム運	[内容]		・湖山の宝巡りパスポ		
	営事業に伴う PR 並びに情報発信・広告宣伝事業	・湖山の宝巡りパスポート登録の啓発		一トを見直す。		
	の実施	[結果]				
平成28年度	・様々なイベント、サイクリング、観光等の紹介	·新規登録 12 件(登録総数 91 件)	9. 1%			
十八〇十尺	として、湖山の宝巡りパスポートを活用してい	※H28. 10. 31 現在	9. 170			
	< ∘	・湖山の宝巡りパスポートの制度を検討				
	・登録者(かすみがうら市のファンクラブ)の増加	した結果、来年度以降見直しを図る。				
	を目指す。					
平成29年度	・湖山の宝巡りパスポートの見直しを図る。					
平成30年度						
平成31年度						

施策コード	2-3-1								
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	/ -	年度是	引計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	Uターン定住の推進	年度	調査	・研究					
施 策 名	子どもたちへ地域の魅力(良さ)を伝える	別	検	討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当	計画	実	施					
関連 部署	学校教育課 生涯学習課	1	評	価					
現在の課題	地元への愛着度が低く、特に 20 代~30 代の人口が転出超過となっており、特に女性の転	出が	目立っ	ている。	1				
必要な対応	進学等で市外へ出て行く子どもたちも就職等でUターンしてくるよう中学生を対象とした教育を行い、地方創生に関するスキルアップを図る。 ・学校への出前事業の開催 ・まちの未来を考えるワークショップ ・地場産品や歴史文化を題材としたキャリア教育	:教育	プログ	゙ ラムを	構築し	、まちつ	がくり教	育やキ	ャリア

項目	25	% 50	79	5%	KPI (H31)					
達成度										
年度										
結果					18 歳定住率 維持					
達成度説明	H27…436 人÷420 人=103.8	H27···436 人÷420 人=103. 81%〈H26. 4. 1 (17 歳)→H27. 4. 1 (18 歳)〉								
连队及就明	H28…393 人÷398 人=90.14									

項目		25%	509	% 75	%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度				100. 0%		
H29 進捗度						
H30 進捗度						・学校への出前事業の開催
H31 進捗度						・まちの未来を考えるワー
	年度	取り糸	且み実施	取り	組み予定	クショップ
進捗状況	H27	・ふるさと教育の推進(歴・出前講座の実施	歴史マンガ作成)			・地場産品や歴史文化を題 材としたキャリア教育
正抄1人 沉	H28	・ふるさと教育の推進 ・出前講座の実施 ・子どもミライプロジェ	クトの実施			

		・3年間のプログラム構築		
	H29		・ふるさと教育の推進 ・出前講座の実施 ・子どもミライプロジェクトの実施	
	H30			
	H31			
説明	Н28…∄	取り組み項目(地方創生加速化交付金)を実施しているた	め 100. 0%とした。	

		平成 2	7年度			平成2	8年度			平成2	9年度			平成3	0年度			平成3	1 年度	
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
検討							\rightarrow													
子どもミライ出前授業																				
子どもミライワークショップ																				
子どもミライマルシェ																				
実施準備														\rightarrow						
子どもミライ出前授業																				
子どもミライワークショップ																				
子どもミライマルシェ																				
実施																				\rightarrow
子どもミライ出前授業																				
子どもミライワークショップ																				
子どもミライマルシェ																				
ふるさと教育(歴史マンガ等)																				
出前資料館																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action)	改善等
		[内容]		・地元企業、団体との		
		・ふるさと教育の推進		連携		
		(ふるさとに誇りと愛着を持ってもら				
平成27年度		うため、本市出身の偉人を主人公にし	_			
		た「歴史マンガ」を作成、発行。市内				
		全小中学生に無料配布している。)				
		(つくばビジネスカレッジと連携)				

		・出前講座の実施 (小中学校からの依頼に応じて学芸 員、市民学芸員などが出前講座(地域 学習)を実施。 [結果]			
		・歴史マンガ作成 H26…伊東甲子郎&竹内百太郎 H27…折本良平 ・出前資料館…市内外合わせて 18 回 ※資料館小中学校見学受け入れ 24 校			
平成28年度	・子どもたちが理解しやすい教材・コンテンツの検討・作成 地方創生といったキーワードに関するマンガ・映像教材等の製作、専門家・関係者・協力者等との調整、ヒアリングの実施・地方創生に関する「出前授業」の検討専門家を派遣し中1年生を対象に分かりやすい授業の実施・「子どもミライワークショップ」・地元企業や事業者による「キャリア教育プログラム」(全3回程度)の企画検討	次員科照小中学校見学で17人れ 24 校	0.0%	・中学校との連携 ・市内事業者や農家と の連携	

		域学習)を実施。		
		・歴史マンガ作成		
		細野ぜん兵衛(作成中)		
		・出前資料館…市内外あわせて〇回		
		※資料館小中学校見学受け入れ〇校		
	・「子どもミライプロジェクト」の実施			
	1 年;子どもミライ出前授業			
	(講義、体験談の講演、作文等)			
平成29年度	2年;子どもミライワークショップ			
十八乙9十月	(講義、現場見学、ビジネスプランづくり、			
	コンテスト、商品づくりの依頼)			
	・歴史マンガ作成			
	・出前資料館			
平成30年度				
平成31年度				

施策コード	2-3-2								
基本目標	地域の魅力を磨き、新しい人の流れをつくる	/ -	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	Uターン定住の推進	年度	調査・	研究					
施 策 名	住居の確保	別	検	討					
施策推進部署	政策経営課	計画	実	施					
関連 部署		1	評	価					
現在の課題	地元への愛着度が低く、特に 20 代~30 代の人口が転出超過となっており、特に女性の転	出が	目立って	ている。)				
必要な対応	現在実施している空き家バンク制度の助成対象の拡充等を図り、良質な空き家を確保する 居を求める人たちの定住を促進する。また、活用できそうな空き家の掘り起しについて、 ・空き家バンク物件修繕補助(現行 20 万円上限)の拡充 ・空き家バンク物件募集(ポスター・チラシ・広告等) ・地域住民の協力による空き家の掘り起こし							ンで新	たに住

項目	25	% 50	75	%	KPI (H31)
達成度	20. 0%				
年度	H27				空き家バンク成約数 20 件
結果	4 件				全さ家ハング成制数 20 件
達成度説明	H27…4 件÷20 件=20.0%				

項目		25	%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度				100. 0%		
H28 進捗度			60. 0%			
H29 進捗度						ᅲᅕᇢᆄᆺᄼᄱᄱᄽᄽᅷᅷ
H30 進捗度						・空き家バンク物件修繕補
H31 進捗度						助(現行 20 万円上限)の 拡充
	年度	耳	り組み実施		取り組み予定	・空き家バンク物件募集
	H27	・空き家バンク物件・空き家バンク物件	修繕補助の実施 募集(納税通知書に同封)			(ポスター一、チラシ、広告等) ・地域住民の協力による空
進捗状況	H28	・空き家バンク物件 ・空き家バンク物件 ・ふるさと回帰支援	募集(納税通知書に同封)	_	ンク物件修繕補助の拡充 掘り起こし	き家の掘り起こし
	H29			空き家バ	ンク物件修繕補助の実施	

	・空き家バンク物件募集 ・ふるさと回帰支援センターとの連 ・空き家の掘り起こし	携
	H30	
	H31	
説明	H27…空き家バンク物件修繕補助(地方創生先行型交付金)及び物件募集に取り組んだため 100.0%。H28…空き家バンク物件募集等に取り組んだが、空き家の掘り起こし等が未実施となっているため (3 項目÷5 項目=60.0%)	- · · - •

項目		平成 2	7 年度			平成2	8 年度			平成 2	9 年度			平成3	0年度			平成 3	1 年度	
以 日 	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究																				
危険家屋の調査																				
潜在空き家の分析																				
実施																				\uparrow
物件募集																				
物件修繕補助																				
ふるさと回帰センター連携																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action)	改善等
	【地方創生先行型交付金活用】	[内容]		・空き家バンク登録物		
	H27 KPI…移住者 5 人・2 世帯	・空き家バンク物件修繕補助交付		件の掘り起こし		
平成27年度		・募集チラシの配布(納税通知書同封)	20.0%			
		[結果]				
		・成約数4件、移住者7人(2世帯)				
	・地元住民の協力を得ながら、空き家情報を把握	[内容]				
	し、空き家バンク物件登録数を増やす。	・空き家バンク物件修繕補助交付				
	・また、県外からの転入者を増やすため、ふるさ	・募集チラシの配布(納税通知書同封)				
立 は 0 0 左 座	と回帰支援センターとの連携など、首都圏にお	・社総交を活用して危険家屋の調査を実	20. 0%			
平成28年度	いて本市のPRを実施していく。	施する。(予定)	20.0%			
	・リフォーム助成金の拡充の検討。	[結果]				
	・危険家屋の調査などにより空き家の掘り起こし	• 登録件数…1 件				
	を実施する。	•成約件数…0件				

平成29年度	 ・地元住民の協力を得ながら、空き家情報を把握し、空き家バンク物件登録数を増やす。 ・また、県外からの転入者を増やすため、ふるさと回帰支援センターとの連携など、首都圏において本市のPRを実施していく。 ・リフォーム助成金の拡充の検討。 ・危険家屋の調査などにより空き家の掘り起こしを実施する。 		
平成30年度			
平成31年度			

施策コード	3–1–1								
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	/ -	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	結婚・子育て支援の充実	年度	調査・	研究					
施 策 名	婚活支援	別計	検	討					
施策推進部署	秘書広聴課	計画	実	施					
関連 部署	農林水産課 地方創生・事業推進担当 生涯学習課	Ι	評	価					
現在の課題	地元への愛着度が低く、特に 20 代~30 代の人口が転出超過となっており、特に女性の転	出が	目立って	ている。					
必要な対応	若者の結婚希望をかなえるため、出会いの場、きっかけを提供する。出会いの場について産業(同郷会)との協働で実施する赤い糸パーティーなど、企画運営を行う。 ・出会いの場の提供 ・婚活パーティーの実施、街コンの開催(歩いて行けるお店) ・同窓会の開催の協賛及び支援	は、	商店街	との協	働で実	施する街	行コン、	同窓会	や市内

項目	25	% 50	75	i%	KPI (H31)
達成度					
年度					成婚定住者数 10 組
結果					
達成度説明					

項目		25	% 50)% 7	5%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度			83. 3%			
H29 進捗度						
H30 進捗度						・出会いの場の提供
H31 進捗度						・婚活パーティーの実施、
	年度	Į	取り組み実施	取り	組み予定	街コンの開催(歩いて行
進捗状況	H27	・婚活パーティーの・出会いサポートセ・大人大学の講座				けるお店) ・同窓会の開催の協賛及び 支援
	H28	・婚活パーティーの・出会いサポートセ・大人大学の講座		・サイクリングプログ の検討	ラムを活用した婚活イベント	

	・大人クラブの新設 ・30 歳の大同窓会の実施	
	H29	
	H30	
	H31	
説明	H28…婚活パーティーの実施、出会いサポートセンターの活用、大人大学の講座、大人クラブ、30 歳の取り組んだが、サイクリングを活用した婚活イベントの検討が未実施となっているため 83.3%とし目÷6項目=83.3%)	

- F		平成2	7 年度			平成2	8 年度			平成2	9年度	•		平成3	O年度	•		平成3	1 年度	
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
検討												^								
サイクリング活用婚活等																				
30歳の大同窓会																				
実施準備							\rightarrow													
30歳の大同窓会																				
大人クラブ設立																				
実施																				\rightarrow
婚活パーティー																				
30歳の大同窓会																				
大人大学																				
高校生会																				
成人式実行委員会																				
大人クラブ																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action)	改善等
		[内容]		・参加者の確保		
		・婚活パーティーの実施		成婚定住者の増加		
		・出会いサポートセンター活用				
平成27年度		・大人大学「男子力・女子カアップ講	_			
		座」の開講				
		・成人式実行委員会活動の拡充				
		・高校生会の復活				

		「結果」 ・婚活パーティー 2回・93人参加・成立14組 ・カップリングパーティ (11/21…参加37人・成立4組) ・本市×桜川市婚活バスツアー(板橋区との連携含む)(2/20…参加56人・成立10組) ・マリッジサポーター(登録総数11人) ・男子力・女子力アップ講座 6/19…13・7/17…14・8/21…11・9/18…13 ・成人式実行委員会活動の拡充・会員数…12人			
平成28年度	・サイクリングプログラムを活用した婚活イベントの検討 ・赤い糸パーティーの実施 30代の本市出身者を対象に取材、赤い糸パーティーのパンフレット企画、印刷送付、企画会社協働によるパーティー企画運営、参加者カルテの作成 ・大人クラブの新設及び高校生会、成人式実行委員会活動の拡充 大人大学受講生を中心に昔の青年会的組織「大人クラブ」を新設する。あわせて、高校生会、成人式実行委員会の活動も拡充し、高校生会が終わったら成人式実行委員会が終わったら大人クラブへ入会。との流れを作り、地元に残ってもらう若者を増やす。大人クラブ…12人・高校生会…9人・成人式実行委員会…現在募集中)	・高校生会の復活・会員数…9人(H28度初め) [内容] ・婚活パーティーの実施 ・出会いサポートセンターの活用 ・マリッジサポーター登録 ・「30歳の大同窓会」の実施/対象者…450人 ・大人大学の開講 「サリーちゃんの教えるがが講座」 「簡単サクサクお手軽ライフ講座」 ・大人クラブの設置 ・成人すぎで、成人式会活動の拡充 ・高校生会活動の拡充 「結果] ・婚活パーティー 7/30 参加者 19名・成立…3組 11/2及び H29.2中旬婚活パーティー でリッジサポーター登録(13名) ・大人大学 「サリーちゃんの教えるがが講座」 5/188…7・6/1・・8・6/19・・11・7/13・・107/16・・8 「簡単サクサクお手軽ライフ講座」	0.0%	・婚活パーティー参加 者の確保 ・婚活パーティー開催 場所の検討 ・参加者の確保が重要 ・成婚で登員の確保 ・実行者の確保 ・参加事務の実施	

		O	ı	
		①ナチュラルお掃除教室… 6人		
		②簡単アウトドア教室… 8人		
		③プロに教わるゴルフ教室…7人		
		④新感覚 NIGHT 果樹狩り… 13 人		
		「ズバリなっとく稲吉神立学講座」		
		①酒屋から眺める稲吉神立学		
		②電器屋から眺める稲吉神立学		
		③レストランから眺める稲吉神立学		
		④家から眺める稲吉神立学		
		・大人クラブ…5/27 設立(会員 13 人)		
		·成人式実行委員会…8/20 設立		
		・高校生会		
		子ども会事業や、ふれあい生涯学習		
		フェア、子育てひろばなど、各種事業		
		等への協力。		
	・婚活パーティーの実施			
	サイクリングまたはバーベキューを利用した			
	婚活事業を計画する。			
	婚活事業…3 回実施予定			
	・カップル成立記念品			
	お食事券 ⇒かすみキッチン・ボンジュール等			
	一人 1,500 円×10 組			
平成29年度	・「30歳の大同窓会」の実施			
一級と3千段	・大人大学の開講			
	・大人クラブ、高校生会、成人式実行委員会			
	それぞれの活動内容の拡充を図ると同時に、			
	これらの若者向け組織の連携を進め、中学生ジ			
	ュニアリーダー⇒高校生会⇒成人式実行委員会			
	⇒大人クラブの流れを作り、最終的には地域に			
	残る、若しくは戻る若者を増やしたい。			
平成30年度				
平成31年度				

施策コード	3-1-2								
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	7	年度別	J計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	結婚・子育て支援の充実	午 度	調査・	研究					
施 策 名	成婚定住者への助成	別	検	討					
施策推進部署	秘書広聴課	計画	実	施					
関連部署	政策経営課		評	価					
現在の課題	地元への愛着度が低く、特に 20 代~30 代の人口が転出超過となっており、特に女性の転	出が月	目立って	こいる。					
必要な対応	婚活パーティー等をきっかけに成婚し、市内に居住することになった者に対して、結婚祝 ・成婚へのお祝金(新築および空き家バンク等による定住)	い金	を支給す	する。					

項目	25	% 50	75	5%	KPI (H31)
達成度					
年度					成婚定住者数 10 組(再掲)
結果					戏馆足住有数 0 租(再档)
達成度説明					

項目		25%	6 50	%	75	%	必要な対応
H27 進捗度							
H28 進捗度		Ę	50.0%				
H29 進捗度							
H30 進捗度							
H31 進捗度							
	年度	取	り組み実施		取り	組み予定	・成婚へのお祝金(新築お
	H27						・成婚へのの祝並(利案の よび空き家バンク等によ
進捗状況	H28	・成婚・定住のお祝金	急制度の創設	1	・定住・Uターンの生活 検討	5相談支援体制・助成事業の	る定住)
	H29				成婚定住奨励金制度の	実施	
	H30						
	H31						
説明)創設に取り組んだが、定住 した。(1 項目÷2 項目=50		ーンの生活相談支援体制	制・助成事業の検討が未実施	

項目	平成27年度			平成28年度				平成29年度				平成3	0年度		平成31年度					
- 現 日 -	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
実施準備							\rightarrow													
要綱制定																				
実施																				$\qquad \qquad \blacksquare$
成婚定住奨励金																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度			_		
	・定住・Uターンの生活相談支援体制・助成事業	[内容]			
マボッッ 年度	の検討	・成婚定住奨励金要綱の制定	0. 0%		
平成28年度	・成婚・定住のお祝金制度の検討	[結果]	0.0%		
		・要綱制定 10 月 31 日、同日施行			
	・成婚定住奨励金制度	[内容]			
平成29年度		• 成婚定住奨励金制度			
		[結果]			
平成30年度					
平成31年度					

施策コード	3-1-3								
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	-	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	結婚・子育て支援の充実	年 度	調査・	研究					
施 策 名	妊婦等への助成	別	検	討					
施策推進部署	健康づくり増進課	計画	実	施					
関連 部署			評	価					
現在の課題	地元への愛着度が低く、特に20代~30代の人口が転出超過となっており、特に女性の転	出が目	目立って	ている。	1				
必要な対応	妊婦の経済的負担や不安を軽減するため、通院費用を助成する。また、高額な費用を要す望をかなえる。 ・妊婦への助成 ・不妊治療への助成の拡充	*る不	妊治療	に係る	助成の	充実を図	図り、出	産に対 [・]	する希

項目	25	% 50	75	5%	KPI (H31)
達成度					
年度					 満足度・住みやすさ 50%
結果					満足度・住みやする 50%
達成度説明					

百		平成2	7 年度			平成28年度			8年度 平成29年度 平成3			平成3	0 年度			平成3	1 年度			
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究												\rightarrow								
不妊治療拡充																				
タクシー助成																				
検討												\rightarrow								
不妊治療拡充																				
タクシー助成																				
実施準備									\rightarrow											
不妊治療拡充																				
実施																				\rightarrow
不妊治療助成																				
不妊治療拡充																				

項目		25	% 50	% 7	5%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度				100. 0%		
H29 進捗度						
H30 進捗度						
H31 進捗度						
	年度	J	取り組み実施	取り	リ組み予定	
	H27	・不妊治療への助成				・妊婦への助成
		・不妊治療への助成	制度の拡充			・不妊治療への助成の拡充
世 進捗状況	H28	・妊婦の不安を軽減	するため、通院にかかる費用((タ		
進抄扒儿		クシーなど) 助成制	制度の検討			
	H29			・不妊治療助成制度の	実施	
	H30		·		·	
	H31					
説明	H28···耳	取り組み項目を実施し	ているため 100.0%とした。			

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
		[内容]		・対象治療の拡充	
		・不妊治療助成			
平成27年度		[結果]	_		
		・助成者数 25 人(延 36 件)			
		実績(妊娠)9人			
	・不妊治療に対しての助成拡充、茨城県の戦略に	[内容]		・対象治療の拡充	
	おいても不妊治療費助成事業については記載し	• 不妊治療拡充検討			
平成28年度	ているため、それらを踏まえた拡充策を検討。	(男性不妊、不育治療)	0.0%		
	・妊婦の不安を軽減するため、通院にかかる費用	・タクシー助成検討			
	(タクシーなど)助成制度についても検討する。				
平成29年度	・不妊治療の助成実施				
平成30年度					
平成31年度					

施策コード	3-1-4								
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	_	年度別	引計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	結婚・子育て支援の充実	住度	調査・	研究					
施 策 名	子育て支援の充実	別	検	討					
施策推進部署	子ども家庭課	計画	実	施					
関連 部署	都市整備課 健康づくり増進課 政策経営課 生涯学習課	1	評	価					
現在の課題	地元への愛着度が低く、特に 20 代~30 代の人口が転出超過となっており、特に女性の転	出が	目立って	ている。					
	子育て時期の経済的負担を軽減するため、支援の充実に向けたポイント制導入の仕組みづくりを進める。また、保育所の入所制度を見直すなど、母親の職場復帰を円滑にできるようにする。 ・ポイント制の導入等(転入ポイント・結婚ポイント・出産ポイント) ・保育所の入所予約制導入に向けた検討								
必要な対応	仕事と子育ての両立を円滑に行えるよう、出産や子育てに対する就業環境の改善、支援制度の充実、及びそれを実践している企業を広くPRするとともに、その取組みに対する支援を行う。 ・子育て奨励企業への補助(育児休暇取得推奨等) ・育児休業時の助成								

必要な対応

育児中の短時間就労等

親子が気軽に集うことができる交流の場、既存施設の利用促進(条件緩和等)、アスレチックなどのある公園を整備する。また、子育てに関する不安解消に向け、子育て世帯の交流促進に努め、その活動支援を行う。

- 公園や図書館等の環境の充実整備
- ・子育て相談窓口の充実(ワンストップ化、情報発信強化)
- ママ友の集える場所づくり
- 子育て世代の交流促進(活動支援)
- ・やまゆり館の利用促進(利用時間の延長、対象年齢の緩和等)

項目	25	% 50	% 75	i%	KPI (H31)
達成度					満足度・住みやすさ 50%
年度					(再掲)
結果					都市公園設置に向けた取組
達成度説明					み 進捗率 0%⇒50%
连队及就明					※進捗率 50%(方向性·取

り組みの検討)

項目		25	% 50	75%	必要な対応
H27 進捗度					・ポイント制の導入等(転
H28 進捗度		42. 9%			入ポイント・結婚ポイン
H29 進捗度					ト・出産ポイント)
H30 進捗度					・保育所の入所予約制導入
H31 進捗度					に向けた検討
	年度 取り組み実施			取り組み予定	
	H27	・家庭教育学級の実 ・保護者のネットワ ・子育て相談窓口の	一クづくり支援		・子育て奨励企業への補助 (育児休暇取得推奨等)・育児休業時の助成
進捗状況	H28	・ポイント制度導入 ・ポイント制度導入 ・保育所予約制度の	に向けた検討	・企業と連携した制度充実に向けた取り組み ・子育て支援拠点の検討(霞ヶ浦地区) ・公園及び図書館設置の調査研究 ・子育て支援センターの設置検討	・育児中の短時間就労等・公園や図書館等の環境の 充実整備
	H29			・総合的なポイント制度の検討 ・国の動向(予約体制への補助)を注視しながら、 保育所予約制度実施方法の検討。	・子育て相談窓口の充実(ワンストップ化、情報発信強化)
	H30				・ママ友の集える場所づく
	H31				りっさっぱいのささの光の
説明			事例調査検討等に取り組んた とした。(3 項目÷7 項目=4	が、企業と連携した制度充実に向けた取り組み等が実施と 2.9%)	・子育て世代の交流促進(活動支援)・やまゆり館の利用促進(利用時間の延長、対象年齢の緩和等)

項目		平成 2	7 年度			平成 2	8 年度			平成2	9 年度			平成3	0年度			平成 3	1 年度	
块	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究												\rightarrow								
ポイント制度調査																				
予約制度調査																				
検討												\rightarrow								
ポイント制度調査																				

予約制度手法検討										
実施準備								\rightarrow		
予約制度要領等作成										
実施										\rightarrow
予約制度										

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
		[内容] ・子育て相談窓口の充実		・アプリ活用の周知、利用者の増加	
		(情報発信強化)		が用名の追加	
		・保護者のネットワーク作りの支援			
		(子育ての悩みなど、相談できる保護			
		者どおしのネットワーク作りを支援			
		するため、小・中学1年生保護者を対			
		象に「家庭教育学級」を、就学前の幼			
		児の保護者を対象に「子育てひろば」			
		を実施。)			
		・家庭教育学級(市内小中学校に委託し、			
		1 校年3~10 回程度実施。)			
		・保護者のネットワーク作りの支援			
平成27年度		(子育ての悩みなど、相談できる保護	_		
		者どおしのネットワーク作りを支援			
		するため、小・中学1年生保護者を対			
		象に「家庭教育学級」を、就学前の幼			
		児の保護者を対象に「子育てひろば」			
		を実施。)			
		・家庭教育学級(市内小中学校に委託し、			
		1 校年 3~10 回程度実施。)			
		[結果]			
		・子育て支援アプリの開発			
		子育てひろば…年7回実施			
		参加者延べ人数…942 人			
		• 家庭教育学級			
		参加者延べ人数…4,024 人			

			1		
	・成婚・出産・育児の節目におけるポイント制導	・ポイント制度の導入		・ポイント制度の導入	
	入に向けた検討。(ポイントを利用し、入学時用	子育て支援として、乳児期における		結婚・出産・育児	
	意品の購入に充てるなど)	先進事例の調査。		の一連の流れに沿	
	・企業と連携し、育児休業や子育て中の方に対す	• 保育所予約制度		った総合的なポイ	
	る制度充実に向けた取組みを行う。	他自治体で先行導入されている予		ント制度の検討。	
	・やまゆり館で実施している子育て拠点事業のよ	約制度の課題等について検証。		• 保育所予約制度	
亚代〇〇左帝	うな取り組みを、霞ヶ浦地区でも実施可能か検		0.00/	閉所予定のさく	
平成28年度	討する。また、保育所で既に実施している拠点		0.0%	ら保育所からの転	
	事業を含めた事業の情報発信を行う。			所児童への影響(H	
	・市街化区域における公園や図書館の設置に向け			30 年度まで)	
	た調査研究。				
	・保育所の予約制度導入に向けた調査検討。				
	・切れ目のない支援を目的とした窓口の一本化				
	【(仮)子育て支援センターの設置検討等。】				
	・総合的なポイント制度の検討。				
平成29年度	・国の動向(予約体制への補助)を注視しながら、				
	保育所予約制度実施方法の検討。				
平成30年度					
平成31年度					

施策コード	3–2–1								
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	教育環境の充実	年度	調査・	研究					
施 策 名	特色ある教育の実施	別計画	検	討					
施策推進部署	施 策 推 進 部 署 政策経営課								
関連 部署	関連部署 学校教育課 生涯学習課								
現在の課題	転出者が多い状況の理由の一つに、「学力が高く教育の充実している自治体に魅力度が高い	2 [رر	ことが挙	げられ	いている	0			
必要な対応	本市の特性を活かした学習・教育プログラムを展開し、子どもの個性を伸ばし、将来の本市の発展に寄与する人材を育成する。特に、英語や理数科に対する興味・関心を高めるための体験・実験授業の充実、地元産業との協働によるキャリア教育などを展開する。 ・英語教育、理数教育等の充実・地元産業との連携によるキャリア教育(就労体験)								

項目	25	% 50	75	5%	KPI (H31)		
達成度					6~23 歳人口割合 16.8%の		
年度					維持		
結果					※平成 27 年 10 月 1 日現在 の住民基本台帳より算出		
達成度説明	H28…7, 153 人÷42, 761 人=	··7, 153 人÷42, 761 人=16. 7%					

項目		25	%	50%	75	5%	必要な対応
H27 進捗度							
H28 進捗度			71. 4%				
H29 進捗度							
H30 進捗度							
H31 進捗度							・英語教育、理数教育等の
	年度	J	取り組み実施		取り	組み予定	・ 充実 - 充実
	H27	・子ども大学の開講・放課後や土曜日の					・地元産業との連携による
進捗状況	H28	・子ども大学の開講 ・放課後や土曜日の ・英会話広場への支 ・ジオパークを活用 ・子どもミライプロ	学習支援 援 した教育の実施		特色ある教育プログラ学習支援ボランティフ	ラムの構築に向けた調査研究 アの検討	マイソノ X 目(加力1448X)

	H29 H30 H31	・特色ある教育プログラムの構築に向けた調査研究 ・子ども大学の開講 ・放課後や土曜日の学習支援 ・英会話広場への支援 ・学習支援ボランティアの検討 ・ジオパークを活用した教育の実施 ・子どもミライプロジェクト【再掲】 ・持続可能な開発のための教育(ESD)推進
	H28…子ども大学の開講等に取り組んだが、特色ある教育プ	
説明	るため 71.4%とした。(5 項目÷7 項目=71.4%)	5 5 7 7 115131 1 5 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

- TO		平成 2	7年度			平成2	8年度			平成2	9 年度			平成3	0 年度			平成 3	1 年度	
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究																				\rightarrow
指導要領の見直し																				
特色づくりの研究																				
検討																			\rightarrow	
ジオパーク教育																				
学習環境の充実																				
子どもミライ出前授業																				
子どもミライワークショップ																				
子どもミライマルシェ																				
実施																				\rightarrow
子ども大学																				
各種学習支援																				
子どもミライ出前授業																				
子どもミライワークショップ																				
子どもミライマルシェ																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度		[内容]	_	・特色あるプログラム	

		・子ども大学の開講	の 5	実現	
		(大学教授など、様々な分野の専門家			
		の話を聞いたり、体験活動をしたり、			
		自ら考えたりしながら、今まで知らな			
		かった新しい世界を学んでいく。これ			
		ら、多様な知識との出会いは、知的好			
		奇心や学問への興味を高めるきっか			
		けとなり、子どもたちの未来を育み、			
		将来の可能性を広げる。)			
		・放課後や土曜日の学習支援			
		(地域の子どもは地域で育てるの観点			
		から、地域のボランティア団体(下稲			
		吉中学区三校連支援ボランティア) と			
		連携し、地域の子どもたちの学習支援			
		に取り組んだ。)			
		[結果]			
		・子ども大学の開講			
		前期講座4回			
		6/20…39 人・7/19…32 人			
		8/1…36 人・8/19…37 人			
		後期講座4回			
		11/21…45 人・12/19…46 人			
		1/31…42 人・3/5…42 人			
		・放課後の学習支援			
		年 57 回・延べ参加人数…1, 293 人			
		・土曜日の学習支援			
		年 50 回・延べ参加人数…816 人			
	・特色ある教育プログラムの構築に向けた調査研	[内容]			
	究	・子ども大学の開講			
	・三校連(下稲吉中・下稲吉小・下稲吉東小)で実	・放課後や土曜日の学習支援			
平成28年度	施している、放課後・土曜日学習支援について	(いなよし学習広場)	0.0%		
	は、地区公民館事業に取り上げ、市民協働で事	現在、ほかの中学校区でも同様の活動			
	業を支援する。	ができるよう準備を進めている。			
	・子ども大学の開講(内容の充実)	[結果]			

	サムギナリ・の土垣	フルナーヴの明寺・芸伽寺の4日		
	・英会話広場への支援	・子ども大学の開講…前期講座4回		
	(単なる英語の学習ではなく、自由な英会話とい	6/25…35 人・7/9…34 人		
	う切り口で、なかよしスポーツクラブが新たに	8/6…27 人・9/10…30 人		
	取り組む「英会話広場」を支援(委託)する。)	後期講座4回 10月12日開講予定		
	・学習支援ボランティアの検討。	・放課後の学習支援…現在実施中		
	・子どもミライプロジェクト【再掲】	・土曜日の学習支援…現在実施中		
	・郷土愛の醸成や地域資源の発見のために出前授			
	業などでジオパークを活用			
	・特色ある教育プログラムの構築に向けた調査研			
	究			
	・三校連(下稲吉中・下稲吉小・下稲吉東小)で実			
	施している、放課後・土曜日学習支援について			
	は、地区公民館事業に取り上げ、市民協働で事			
	業を支援する。			
	・放課後の学習支援・土曜日の学習支援			
	下稲吉中学校区以外での事業展開を目指す。			
平成29年度	・子ども大学の開講(内容の充実)			
	・英会話広場への支援			
	・学習支援ボランティアの検討。			
	・子どもミライプロジェクト【再掲】			
	・ジオパークを活用し郷土愛の醸成や地域資源の			
	発見する教育を実施(指導要綱等に位置づけ)			
	・持続可能な開発のための教育(ESD)を推進			
	し、ユネスコスクールの導入を検討。			
平成30年度				
平成31年度				

施策コード	3-2-2								
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	/ -	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	教育環境の充実	年度	調査・	研究					
施 策 名	学費負担の軽減	別計	検	討					
施策推進部署	政策経営課	計画	実	施					
関連部署	学校教育課	1	評	価					
現在の課題	少子化の原因の一つに「子育てにお金がかかる」といった経済的な不安が挙げられている	0							
必要な対応	子育て時期の経済的負担を軽減するため、本市独自の奨学金等の制度づくり、通学に対すよう学習施設等の充実を図る。 ・奨学金制度の仕組みづくり ・通学定期券の助成 ・学習施設や環境の確保・充実	る支	援を行	う。ま	た、子	どもたり	6の学習	意欲を	高める

項目	25	% 50	% 75	%	KPI (H31)
達成度					6~23 歳人口割合 16.8%の
年度					維持
結果					※平成 27 年 10 月 1 日現在
達成度説明	H28…7, 153 人÷42, 761 人=	16. 73%			の住民基本台帳より算出

項目		25	%	50%	5 75	i%	必要な対応
H27 進捗度							
H28 進捗度			66. 7%				
H29 進捗度							
H30 進捗度							- 将尚仝制度の仏织 7. ベノ
H31 進捗度							・奨学金制度の仕組みづく
	年度	Į	Qり組み実施		取り	組み予定	・通学定期券の助成
	H27						・学習施設や環境の確保・
進捗状況	H28	本市独自の奨学金通学定期券助成制	制度の仕組みを検討 度の制度設計		・学習環境の公的施設等	詳活用の検討	充実
	H29				・本市独自の奨学金制度 ・通学定期券助成制度の ・既存施設をイノベーシ)実施	

	H30		
	H31		
	H28	本市独自の奨学金制度の仕組みを検討、学生を対象とし	た通学定期券の助成制度の制度設計に取り組んだが、
説明	学	習できる環境をつくるため、公的施設等の活用の検討な	が未実施となっているため 66.7%とした。(2 項目÷3
	項	[目=66.7%)	

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		平成 2	7 年度			平成2	8年度			平成2	9 年度			平成3	0年度			平成 3	1 年度	
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究												\rightarrow								
奨学金制度																				
通学定期助成																				
学習施設																				
検討																				\rightarrow
奨学金制度																				
通学定期助成																				
学習施設																				
実施準備																				\rightarrow
通学定期助成																				
学習施設実証実験																				
実施																				\rightarrow
通学定期助成																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度			_		
	・本市独自の奨学金制度の仕組みを検討	[内容]			
	・学生を対象とした通学定期券の助成制度を創設	・奨学金制度について調査研究中である			
	(H28 年度に制度設計)	が、当面は企業からの「ふるさと納税」			
	・学習できる環境をつくるため、公的施設等の活	の創設なども含めた仕組みづくりの			
平成28年度	用の検討。	検討を継続する。	0.0%		
		・通学定期券の助成制度について調査研			
		究や JR 等との協議を経て具体的な制			
		度設計中。			
		・FM との関係性を整理して、公的施設			

		の有効活用を検討する。		
		[結果]		
	・本市独自の奨学金制度の仕組みを検討			
	・学生を対象とした通学定期券の助成制度の運用			
平成29年度	開始			
	・学習環境の充実を図るため既存施設をイノベー			
	ションした活用について検討する。			
平成30年度				
平成31年度				

施策コード	3-2-3							
基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	_	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	教育環境の充実	住度	調査・研究					
施 策 名	非行防止と健全育成の推進	年度別計画	検 討					
施策推進部署	生涯学習課	計画	実 施					
関連部署	学校教育課 総務課	1	評 価					
現在の課題	学力が高く、教育の充実している自治体に対する魅力度が高いため、転出者が多い状況で 不安から少子化となっている。	ある	。また、子育	てにお	金がかた	いるとい	った経	斉的な
必要な対応	青少年の非行防止と健全育成を推進するため、各種団体と連携しスポーツの推進を図る。 ど青少年育成活動を積極的に行う。また、地域の子どもは地域で育てるという観点に基づ みでの青少年の健全育成に取り組んでいく。 ・スポーツクラブの充実 ・地域住民の協力によるパトロールの強化 ・地域連携による学力の向上 ・家庭(保護者)の教育力の向上 ・安心安全な子供たちの居場所づくり ・各種体験活動を通しての青少年健全育成 ・青少年健全育成団体の支援及び連携							

項目	259	% 50°	% 75	%	KPI (H31)
達成度					
年度					 地域見守り隊 3団体
結果					地域見守り隊3回体
達成度説明					

項目		259	6 50	% 75	%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度			77. 8%			っぱ いりこづの女虫
H29 進捗度						・スポーツクラブの充実 ・地域住民の協力によるパ
H30 進捗度						・地域住民の協力によるハートロールの強化
H31 進捗度						トロー/V0/j虫(L
進捗状況	年度	取	り組み実施	取り	組み予定	

	H27	・スポーツ少年団の活動支援 ・土曜日・放課後の学習支援及び体験教室 ・子ども大学の開講 ・家庭の教育力充実事業 ・青少年育成霞ヶ浦市民会議各種事業の実施 ・市子ども会育成連合会活動の支援 ・青少年相談員活動の支援(パトロール、啓発活動)	
	H28	・スポーツ少年団の活動支援 ・土曜日・放課後の学習支援及び体験教室 ・子ども大学の開講 ・家庭の教育力充実事業 ・青少年育成霞ヶ浦市民会議各種事業の実施 ・市子ども会育成連合会活動の支援 ・青少年相談員活動の支援(パトロール、啓発活動)	・青少年の非行防止と健全育成推進施策の検討 ・各種団体との連携及び施策の検討
	H29		
	H30		
	H31		
説明		スポーツ少年団の活動支援等に取り組んでいるが、青少 連携及び施策の検討未実施となっているため 77.8%と	

1百 口		平成 2	7 年度			平成 2	8 年度			平成 2	9 年度			平成3	0年度			平成 3	1 年度	
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
実施準備																				
学習支援体制の確立																				
実施																				\
スポーツ年団の活動支援																				
各種青少年健全育成活動																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action)	改善等
		[内容・結果]		・各種団体との連携		
		土曜日・放課後の学習支援及び体験教室				
平成27年度		①下中学区三校連支援ボランティアに委託	_			
		放課後学習支援(下中)⇒57 回延 1,294 人				
		土曜日学習支援⇒50 回 延 816 人				

		T			
		放課後の体験教室(下東小)⇒10回 186人			
		②新治小 生涯学習課直営			
		放課後の体験教室⇒9 回 241 人			
		・子ども大学の開講⇒8 回開講 327 人			
		・家庭の教育力充実事業			
		①家庭教育学級の開講			
		⇒全小中学校委託・講演会等各種講座開講			
		②子育てひろばの開講			
		⇒各種体験教室実施·年8回延924人参加			
		青少年育成霞ヶ浦市民会議各種事業の実施			
		①ウィークエンドコミュニティスクール			
		⇒各種体験教室を開講・5 回延 261 人			
		②中学生の主張大会⇒7/26 開催			
		③青少年心身健全育成事業 (ジュニア			
		和太鼓講座)⇒7回 延113人			
		④立志式及び成人式への助成			
		⑤その他青少年健全各種事業への助成			
		・市子ども会育成連合会活動支援			
		⇒親子釣り大会など 延 454 人参加			
		・市スポーツ少年団活動の支援			
		⇒10 種目、28 チーム、			
		指導員 186 人、団員 677 人			
		・青少年相談員活動の支援⇒相談員数 40 人			
		巡回指導、店舗訪問 22回			
		あいさつ声かけ 延6校			
		警察との連絡協議会 3回			
		⇒イベントでの啓発・巡回指導など			
	・青少年の非行防止と健全育成推進施策の検討。	[内容・結果]			
	・各種団体との連携及び施策の検討。	土曜日・放課後の学習支援及び体験教室			
	・青少年健全育成団体と連携し、ウィークエンド	①下中学区三校連支援ボランティアに委託			
	コミュニティスクールの回数の増と内容の拡充	放課後の学習支援(下中)⇒申込者数 45 人			
平成28年度	に努める。	土曜日の学習支援⇒申込者数 38 人	0.0%		
		放課後の体験教室(下東小)⇒申込者数 25 人			
		・子ども大学の開講⇒前期終了4回延126人			
		・家庭の教育力充実事業			
		①家庭教育学級の開講			
·		100		·	

		⇒全小中学校委託・講演会等各種講座開講	
		②子育てひろばの開講	
		⇒各種体験教室実施・4 回延 528 人	
		・青少年育成霞ヶ浦市民会議各種事業の実施	
		①ウィークエンドコミュニティスクール	
		⇒各種体験教室を開講・5 回延 196 人	
		②中学生の主張大会⇒7/26 開催	
		③青少年心身健全育成事業 (ジュニ	
		ア和太鼓講座)⇒7 回 延 142 人	
		④立志式及び成人式への助成	
		⑤その他、高校生会など、青少年健	
		全各種事業への助成	
		・市子ども会育成連合会活動支援	
		⇒親子釣り大会など	
		・市スポーツ少年団活動の支援	
		⇒10 種目、24 チーム、	
		指導員 163 人、団員 655 人	
		 ・青少年相談員活動の支援⇒相談員数 40 人	
		⇒イベントでの啓発・巡回指導など	
	土曜日・放課後の学習支援及び体験教室		
	・子ども大学の開講		
	・家庭の教育力充実事業		
	①家庭教育学級の開講		
	②子育てひろばの開講		
	・青少年育成霞ヶ浦市民会議各種事業の実施		
_ , , ,	①ウィークエンドコミュニティスクール		
平成29年度	②中学生の主張大会		
	③青少年心身健全育成事業(ジュニア和太鼓講座)		
	④立志式及び成人式への助成		
	⑤高校生会など、青少年健全各種事業への助成		
	・市子ども会育成連合会活動の支援		
	・市スポーツ少年団活動の支援		
	・青少年相談員活動の支援(パトロール、啓発活動)		
平成30年度	7.7 1 日的只有为公人以 (*** 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		
平成31年度			
⊤⋏∪「十尺			

施策コード	4–1–1								
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	-	年度是	引計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	コミュニティの活性化	年度	調査	・研究					
施 策 名	 コミュニティの活動の拠点の確保および拡充	別	検	討					
施策推進部署	秘書広聴課	計画	実	施					
関連 部署	生涯学習課	1	評	価					
現在の課題	少子高齢化の進展に伴い、地域の活動が減少しコミュニティの希薄化が懸念されている。								
必要な対応	地域コミュニティ活動を活発化するため、地域内に立地する民間施設等を有効活用できる成を行う。 ・地域・民間施設の有効活用 ・施設活用時の支援・助成等	仕組	みづく	りを行	う。まフ	た、その)施設活	用に対	する助

項目	259	% 50	% 75	5%	KPI (H31)
達成度					
年度					│ │ 地域のリーダー育成 40 人
結果					地域のソーダー自成 40 人
達成度説明					
H27 達成度					
H28 達成度					
H29 達成度					年 10 人
H30 達成度					+ 10 A
H31 達成度					
達成度説明					

項目		25	% 50)% 75	5%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度			66. 7%			地域 日間佐乳の大並ぶ
H29 進捗度						・地域・民間施設の有効活
H30 進捗度						ー 用 ・施設活用時の支援・助成
H31 進捗度						・他政治用時の又抜・助成 等
進捗状況	年度	I	取り組み実施	取り	組み予定	च
進抄认沈	H27	・市民協働的な活動	の推進			

	H28	・市民協働的な活動の推進(まちづくりファンド)	・地域コミュニティ活動の活性化に向け、本市とし	
	1120	・講演会の開催	ての新たな方向性の研究	
	H29		・地域コミュニュティ活動の活発化に向け、新たな 方向性の研究 ・市民協働的な活動の推進(まちづくりファンド) ・活動団体の連絡協議会の設立	
	H30			
	H31			
説明		市民共同的な活動の推進等に取り組んでいるが、地域コ 向性の研究が未実施となっているため 66.7%とした。		

項目		平成 2	7 年度			平成 2	8 年度			平成2	9 年度			平成3	0年度			平成 3	1 年度	
块	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
検討											\rightarrow									
連絡協議会設立																				
実施																				^
講演会																				
市民協働的活動推進																				
連絡協議会																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action)	改善等
		[内容]		・事業の周知		
		・市民協働的な活動の推進				
平成27年度		(まちづくりファンド事業)	_			
		[結果]				
		・実績 0 件				
	・近隣市での取組みを参考としつつ、市民活動、	[内容]		・事業の周知		
	地区公民館活動、地域防災等も考慮した総合的	・市民協働的な活動の推進		・生涯学習課との連絡		
平成28年度	なコミュニティとしての体制づくりを目指すな	(まちづくりファンド事業)	0. 0%	調整		
十八〇十尺	ど、地域コミュニティ活動の活性化に向け、本	・講演会の開催(予定)	0.0/0			
	市としての新たな方向性を見出していく。	[結果]				
		・実績 0 件				
平成29年度	・近隣市の取組を参考としつつ、市民活動、総合					

	的なコミュニュティとしての体制づくりをめざ		
	し活動の活発化に向け、新たな方向性を見出し		
	ていけるよう推進を図る。		
	・市民協働のまちづくりに向けて、事業の推進を		
	図る。(まちづくりファンド事業)		
	・活動団体の連絡協議会の設立		
平成30年度			
平成31年度			

施策コード	4–1–2							
基本目標		+	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	コミュニティの活性化	年度別計画	調査・研究					
施 策 名	地縁的コミュニティの活性化	別	検 討					
施策推進部署	秘書広聴課	計画	実 施					
関連 部署	生涯学習課		評価					
現在の課題	少子高齢化の進展に伴い、地域の活動が減少しコミュニティの希薄化が懸念されている。							
必要な対応	地域コミュニティ活動を維持継続するため、地域リーダー養成講座等の開催を行うととも・社会貢献活動の実施・養成(出前)講座等の展開・リーダーの育成と確保・市民協働的な活動の推進	に、	地域での活動	を支援で	する。			

項目	25	% 50	% 75	%	KPI (H31)
達成度					
年度					地域のリーダー育成 40 人
結果					(再掲)
達成度説明					
H27 達成度					
H28 達成度					
H29 達成度					年 10 人 (再掲)
H30 達成度					平 10 人 (丹梅)
H31 達成度					
達成度説明					

項目		25	% 50	79	5%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度				100.0%		・社会貢献活動の実施
H29 進捗度						・養成(出前)講座等の展
H30 進捗度						開 ・リーダーの育成と確保
H31 進捗度						・市民協働的な活動の推進
進捗状況	年度	I	取り組み実施	取り	組み予定	「山人」の国出って山野の田に

	H27	・新しい地区公民館の形づくり事業・霞ヶ浦地区の各地区公民館施設の統廃合に係る地域説明会の開催・市民協働的な活動の推進	
	H28	・区長懇談会の開催・地区公民館コミュニティ事業の実施	
	H29		
	H30		
	H31		
説明	H28···耳		

項目		平成 2	7 年度			平成2	8 年度			平成 2	9 年度			平成3	0年度			平成 3	1 年度	
以 日	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
実施準備				\rightarrow																
地区公民館形作り																				
実施																				$\stackrel{\bigstar}{\longrightarrow}$
区長懇談会																				
地区公民館活動																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action)	改善等
		[内容]		・地域コミュニティ活		
		・新しい地区公民館の形づくり事業		動の活性化		
		・霞ヶ浦地区の各地区公民館施設の統				
		廃合に係る地域説明会の開催				
		[結果]				
		・公民館と協働・コミュニティを学ぶ(7/18・22 人)				
平成27年度		・地域の課題と財産の洗い出し(8/1・21人)	_			
		・コミュニティ推進員の活動を考える(8/22・23人)				
		・地区公民館コミュニティ				
		事業計画案の作成(8/27…23・2/13…23)				
		・地域説明会/参加者…5 日間 5 か所・計82 人				
		10/26…18人(下大津)·10/27…20人(牛渡)				
		10/28…16 人(安飾) 10/29…17 人(志士庫第一)				

		10/30…11 人(志士庫第二)			
	・地区公民館コミュニティ事業	[内容]		・地域コミュニティ活	
	行政が考え、準備したものに市民が参加する	・区長懇談会の開催		動の活性化	
	という従来の方式ではなく、地域の課題や財産	市長を交えテーマを設け議論し、市			
	をキーワードに、地区住民代表のコミュニティ	の事業に対し共通認識を図る。			
	推進員が中心になって、市民自らが企画した地	行政とのパイプ役として事業推進を			
	域独自の特色あるコミュニティ事業を、市民と	図る。			
	行政(中学校区毎の地区公民館)が市民協働の	今年度 11 月 28 日開催予定。			
	関係で事業展開していく。	[内容・結果]			
	それと同時に、下稲吉中地区については、施	・霞ヶ浦中地区公民館			
	設としての地区公民館の位置付けがなされてい	①地区球技大会・6 地区(6/12~7/3)			
	ないことから、既存の公共施設のいずれかを、	ソフト52・バレー45 チーム総参加者数 1,145 人			
	地区公民館に位置付けるよう準備を進めてい	②地区体育祭【新規事業】10/16 開催			
	< ∘	参加者・来場者 1,000 人			
		③ハイキング			
		下大津・10/29 福島県檜原湖 52 人			
		美並・10/30 静岡県三島市 70 人			
平成28年度		牛渡・11/6 神奈川県江の島 77 人	0.0%		
		佐賀・10/30 東京都皇居 91 人			
		安飾・11/6 埼玉県長瀞 31 人			
		志士庫・10/30 福島県五色沼 48 人			
		④移動講座			
		佐賀・8/21 長野県軽井沢 112 人			
		志士庫・7/17 東京都浅草 68 人			
		下大津、美並、牛渡、安飾は2月頃実施予定			
		⑤歩く会 11/12(日) 開催予定			
		エンデューローコース (歩﨑)			
		文化財一斉公開と同時開催			
		⑥下大津地区地域活性化講座【新規】			
		11/30~3/22 (全5回)			
		⑦桜まつり(下大津の桜)			
		3月下旬若しくは4月上旬開催			
		• 千代田中地区公民館			
		①交流サロン(ちよだ広場)			

		后,中国 D. 子小田八日始
		毎週日・木曜日 千代田公民館
		22 回 延 190 人 (9 月末実績)
		②コミュニティ研修会
		6/12…36 人・6/26…25 人・9/6…37 人
		公民館のあり方など、地域活性化に
		ついて学び、考える。
		③コミュニティ視察研修会
		7 / 31・・福島県川俣町 42 人
		8 / 27・・東京都調布市 17 人
		先進地を訪れ、まちづくりについて考える。
		④ハイキング
		10/15 群馬県みどり市 38人
		・下稲吉中地区公民館
		①交流サロン(おしゃべりカフェ)
		毎週木曜日大塚ふれあいセンター
		13 回 延 103 人 (9月末実績)
		②土曜日の学習支援
		毎週土曜日 大塚児童館
		22 回 延 486 人 (9 月末実績)
		地域住民が地区の小中学生の学習
		(自習)の支援をする。
		③みんなの夏まつり
		8月20日 下稲吉中学校
		参加者・来場者 2,000 人
		盆踊り、ステージ発表、模擬店な
		ど、多くの地域住民が集まる催
		④防災教室 現在計画中
	・区長懇談会の開催	
平成29年度	・地区公民館コミュニティ活動事業の実施	
平成30年度		
平成30年度		
十成31十段		

施策コード	4–2–1								
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	/	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	新たな拠点の整備	年度	調査・	研究					
施 策 名	神立駅周辺の開発	別	検	討					
施策推進部署	都市整備課	計画	実	施					
関連 部署	政策経営課 農林水産課 農業委員会	1	評	価					
現在の課題	市内中心地の活性化、企業誘致など、有効的な土地利用と交通の利便性が求められている	0							
必要な対応	神立駅周辺の整備に併せて良好な住宅市街地の形成に向けた取組みを進める。また、UI実を図る。 ・神立駅周辺・停車場線の整備に合わせた土地利用の見直し ・区域の見直しによる住宅用地の確保 ・コンパクトシティの構築等(駅を中心としたもの)	Jタ-	ーン者(の移住・	定住を	促進する	るため、	都市機	能の充

項目	25	% 50	75%	KPI (H31)
達成度				田冷区はの日本し1年記
年度				用途区域の見直し1箇所 神立駅を中心とした住宅用
結果				地面積 5 ¾増
達成度説明				地画領 リダル塩

項目		259	%	50%	75	5%	必要な対応
H27 進捗度							
H28 進捗度			66. 7%				
H29 進捗度							神六四田辺 停ま場約の
H30 進捗度							・神立駅周辺・停車場線の
H31 進捗度							整備に合わせた土地利用 の見直し
	年度	耳	ロリ組み実施 ロリ組み実施	•	取り	組み予定	の見直し ・区域の見直しによる住宅
	H27	停車場線沿線の用	途変更協議				用地の確保
	H28	用途区域見直しに	ついて茨城県との協議		・駅前開発に併せ、JR	神立駅を中心としたコンパク	・コンパクトシティの構築
進捗状況	1120	・用途区域見直しの	実施時期の検討		トシティに向けた検討	d	等(駅を中心としたもの)
					• 都市計画道路神立停耳	車場線沿線の用途区域の見直	サ(例(と中心とひ)
	H29				し及び神立駅西口土均	也区画整理地内の準防火地区	
					の指定に向けた業務委	託	

	H30	
	H31	
説明	H28…月	用途区域見直しについて茨城県との協議、用途区域見直しの実施時期の検討に取り組んだが、コンパクトシテ
武明	イ	に向けた検討が未実施となっているため 66.7%とした。 (2 項目÷3 項目=66.7%)

項目	平成27年度				平成28年度			平成29年度				平成3	0年度		平成31年度					
块 口	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1–3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
実施												~								
茨城県協議																				
業務委託																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action)	改善等
		[内容]		・停車場線沿線のまち		
		・停車場線から 30 気を供用開始時に第		づくり(活力創出)		
		1種低層住居専用及び第1種中高層住				
平成27年度		居専用区域から第 1 種住居地域への	_			
		用途変更協議				
		[結果]				
		・茨城県と協議済み				
	・用途区域の見直しを進め、停車場線沿い両側 30	[内容]				
	mを第 1 種住居区域に変更する。このことで、	・用途区域見直しについて茨城県との協				
	住宅だけではなく店舗等の建築も可能となる。	議				
平成28年度	・駅前開発に併せ、JR 神立駅を中心としたコンパ	・用途区域見直しの実施時期の検討	0.0%			
	クトシティに向けた検討。	[結果]				
		・用途区域見直しの業務委託を予算要求				
		する。				
	・都市計画道路神立停車場線沿線の用途区域の見					
平成29年度	直し及び神立駅西口土地区画整理地内の準防火					
	地区の指定に向けて業務委託を予定する。					
平成30年度						
平成31年度						

施策コード	4-2-2								
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	/-	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	新たな拠点の整備	午 度	調査・	研究					
施 策 名	千代田石岡インターチェンジ周辺等の活用	別	検	討					
施策推進部署	地方創生・事業推進担当	計 画	実	施					
関連部署	都市整備課 政策経営課	1	評	価					
現在の課題	市内中心地の活性化、企業誘致など、有効的な土地利用と交通の利便性が求められている	0							
必要な対応	高速交通網に近接という利便性を活かした土地の有効活用を推進する								
必安な刈心	・企業誘致(流通拠点)に向けた土地利用の検討								

項目	25	% 50	% 75	%	KPI (H31)
達成度					拠点整備に向けた取組み
年度					進捗率 0%⇒50%
結果					※進捗率 50%(方向性・取
達成度説明					り組みの検討)

項目		25	% 50	7	5%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度				100. 0%		
H29 進捗度						
H30 進捗度						
H31 進捗度						
	年度	耳	取り組み実施	取り	J組み予定	・企業誘致(流通拠点)に
	H27					向けた土地利用の検討
┃ 進捗状況	H28	・千代田石岡 I C周	辺の地権者の意向調査の実施			
進抄 认沉	H29					
	H30					
	H31					
説明	H28…耵	なり組み項目を実施(見込)しているため 100.0%。	とした。		

項目	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度				平成31年度						
以 日 日	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	4-6 7-9 1	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究												\rightarrow								
地権者意向調査																				
検討																				\rightarrow
整備の方向性																				
取組み方法																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度			_		
	・千代田石岡インターチェンジ周辺について、流	[内容]			
	通業の進出を可能としているエリアという点も	・千代田石岡インターチェンジ周辺の地			
平成28年度	踏まえ、企業誘致に向けた取組みを進めていく。	権者の意向調査の実施	0.0%		
	・土地状況の確認、地権者への接触。誘致へのP				
	R _°				
	・千代田石岡インターチェンジ周辺の地権者の意				
平成29年度	向調査の実施				
	・意向調査の結果を踏まえ、整備の方向性の検討				
平成30年度					
平成31年度					

施策コード	4-2-3							
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	+	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	新たな拠点の整備	年 度	調査・研究					
施 策 名		別	検 討					
施策推進部署	政策経営課	計画	実 施					
関連 部署	情報広報課	Ι	評 価					
現在の課題	市内中心地の活性化、企業誘致など、有効的な土地利用と交通の利便性が求められている	0						
必要な対応	茨城空港からの誘客など、国内外からの観光客誘引を目的とした拠点づくりを検討してい ・市をPR(情報発信)するための拠点(道の駅、直売所など)づくりの検討	· 〈 。						

項目	25	% 50	% 75	%	KPI (H31)
達成度					拠点整備に向けた取組み
年度					進捗率 0%⇒50%(再掲)
結果					※進捗率 50%(方向性・取
達成度説明					り組みの検討)

項目		25% 5	0%	75%	必要な対応
H27 進捗度					
H28 進捗度		50.0%	>		
H29 進捗度					
H30 進捗度					
H31 進捗度					
	年度	取り組み実施		取り組み予定	
	H27				・市をPR(情報発信)する
進捗状況	H28	・国道 6 号線の千代田石岡 I C周辺や国道 354 号 沿いなど、情報発信拠点づくりの調査研究	号線	・市場ニーズ調査の実施	ための拠点(道の駅、直 売所など)づくりの検討
连抄 认 流	H29			・二一ズ調査の分析結果を踏まえ、具体的な情報発 信拠点づくりについて検討する。	
	H30				
	H31				
=H DB	H28···/†	情報発信拠点づくりの制度等の研究に取り組んだ <i>が</i>	が、オ	ī場ニーズ調査が未実施となっているため 50.0%とし	
説明	た	。(1項目÷2項目=50.0%)			

項目		平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度				平成31年度					
块 口	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1–3	4-6	7–9	10-12	1–3
調査・研究										\rightarrow										
市場ニーズ調査・分析																				
検討												1								
拠点づくりの検討																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度			_		
	・国道 6 号線の千代田石岡インターチェンジ周辺	[内容]			
平成28年度	や国道 354 号線沿いなど、情報発信拠点づくり	・情報発信拠点づくりの制度等の調査研	0.0%		
	について調査研究を進めていく。	究を実施する。			
	・供給体制の確保が可能か、拠点づくりに関する				
平成29年度	市場のニーズを調査し分析する。				
十八乙9十段	・ニーズ調査の分析結果を踏まえ、具体的な情報				
	発信拠点づくりについて検討する。				
平成30年度					
平成31年度					

施策コード	4-2-4							
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	4	年度別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	新たな拠点の整備	年度	調査・研究					
施 策 名	廃校の活用	剜	検 討					
施策推進部署	検査管財課	計画	実 施					
関連 部署	政策経営課		評 価					
現在の課題	市内中心地の活性化、企業誘致など、有効的な土地利用と交通の利便性が求められている	0						
必要な対応	少子化の影響を受け統廃合された学校について、地域住民等との協働により、地域の拠点 ・地域の拠点づくりに向けた用途変更等(売却、賃貸、転用)	とな	る利用方法を	検討し.	、実践す	-る。		

項目	25	% 50	75	5%	KPI (H31)
達成度					
年度					6 + 55
結果					6ヵ所
達成度説明					

項目		259	% 50)%	75%	必要な対応
H27 進捗度						_
H28 進捗度				100.	. 0%	
H29 進捗度						
H30 進捗度						
H31 進捗度						
	年度	耵	以り組み実施		取り組み予定	─ ─ ・地域の拠点づくりに向け
	H27	・地域の拠点づくり	こ向けた用途変更の検討等			── ・地域の拠点 ラくりに向け ── た用途変更等(売却、賃
進捗状況	H28	・廃校活用ニーズ調 ・公的利用の可能性(・活用事業者等の公	の整理			貸、転用)
	H29				・廃校施設活用の事業化調整	
	H30					
	H31					
説明	H28···耳	取り組み項目を実施し	ているため 100.0%とした。			

項目	平成27年度 平		平成2	8年度		平成29年度				平成3	0年度		平成31年度							
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究				\rightarrow																
市民ワークショッフ																				
事業者公募手法研究																				
検討								\rightarrow												
廃校活用ニーズ調査																				
廃校施設見学会																				
実施準備								\rightarrow												
事業者公募·選考																				
実施												\rightarrow								
事業化調整																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action)	改善等
		[内容]		・地域ニーズとの整合		
		・地域の拠点づくりに向けた用途変更の		・公的利用の可能性の		
		検討等		有無		
		[結果]		・老朽度、耐震性		
平成27年度		・公共施設のあり方に関する地域懇談会	_	• 利用用途規制等		
		ワークショップの開催				
		・参加者…延べ 169 人				
		(10/31…60 人・11/22…56 人・12/13				
		…53 人)				
	・霞ヶ浦地区の廃校の利活用について方向性を決	[内容]				
	定する。	・廃校活用ニーズ調査として、廃校施設				
	廃校活用ニーズ調査の実施	見学会、公募要項の検討、公募等				
	公的利用の可能性の整理	[結果]				
平成28年度	活用事業者等の公募条件整理、公募	・廃校施設見学会(9/21)	0.0%			
		参加者…事業者 16 社、市民 26 人				
		・活用事業者の公募				
		応募者… 社				
		優先交渉権者の決定… 校				
平成29年度	・廃校施設活用(優先交渉権者の提案内容)の事					
一一八29千尺	業化調整					

	事業内容の具体化協議、地元説明会、契約締		
	結等		
平成30年度			
平成31年度			

施策コード	4–3–1								
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	+	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	災害に備えたまちづくり	年度	調査・	研究					
施 策 名	防災体制の拡充	別	調整・	検討					
施策推進部署	総務課 消防総務課	計画	実	施					
関連部署	政策経営課 生涯学習課	П	評	価					
現在の課題	危機管理の意識を高め、災害に対応した体制の整備など、防災に強いまちづくりが求めら	れて	いる。						
必要な対応	高齢化が進む中、災害に備えた地域力を高める必要があるため、自主防災組織の拡充を図る。そのため、必要となる防災資機材等の購入費や活動費への助成を行う。 ・自主防災組織の拡充 ・民間企業消防協力隊の組織化 ・企業等との連携強化(災害協定など) ・装備への助成(活動支援を含む。)	ると	ともに	、民間	企業等	との連携	携体制 <i>の</i>	構築を	支援す

項目	25%	50)% 75	5%	KPI (H31)
達成度	30. 0%				
年度	H27				民間企業消防協力隊 5 団体
結果	6 団体				自主活動実施団体 20 団体
達成度説明	H27…6 団体÷20 団体=30.0%				

項目		25%	50%	75	5%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度			83. 3%			
H29 進捗度						・自主防災組織の拡充
H30 進捗度						・民間企業消防協力隊の組
H31 進捗度						織化
	年度	取り組み実施		取り	組み予定	・企業等との連携強化(災
進捗状況	H27	・自主防災組織の拡充・自主防災組織補助金交付・防災士育成事業補助金交付・災害時応援協定締結				害協定など) ・装備への助成(活動支援 を含む。)
	H28	・自主防組織の拡充		・民間企業消防協力隊の	組織化に向けた検討(組織の	

		・自主防災組織補助金交付	役割、連携内容、支援の方法など)
		・防災士育成補助金交付	
		• 災害時応援援助協定	
		・企業、団体等と連携した総合防災訓練	
			・自主防組織の拡充
			• 自主防災組織補助金交付
	H29		· 防災士育成補助金交付
			災害時応援援助協定
			民間企業消防協力隊の組織化
	H30		
	H31		
	H28···	自主防組織の拡充、自主防災組織補助金及び防災士育原	成補助金交付、災害時応援援助協定、企業、団体等と
説明	連	2携した総合防災訓練に取り組んだが、民間企業消防協	B力隊の組織化に向けた検討が未実施となっているた
	Ø.) 83. 3%とした。(5 項目÷6 項目=83. 3%)	

項目		平成 2	7 年度			平成2	8年度			平成 2	9年度			平成3	0年度			平成3	1 年度	
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究																\rightarrow				
先進地事例調査																				
補助制度調査																				
事前企業調査																				
地域調査																				
検討・準備																^				
連係内容																				
組織の役割																				
支援方法																				
実施準備																\rightarrow				
補助金要綱の改正																				
応援協定の拡充																				
実施																				\rightarrow
補助制度構築																				
応援協定締結																				
協力隊設置																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度		「内容」 ・自主防災組織の拡充 ・自主防災組織が拡充 ・自主防災組織補助金交付 ・防災士育成事業補助金交付 ・災害時応援協定締結 [結果] ・自主防災活動研修会(11/30…64人) ・自主防災組織新規認定…1 団体 (認定総数 6 団体) ・自主防災組織補助交付…3 団体 ・防災士育成補助交付…5 人 ・災害時応援協定締結…4 団体 (総数 20 団体) ・災害時相互応援協定(総数 8 団体)	30.0%	・組織化の促進	
平成28年度	・自主防災組織の拡充について自治総合センターの助成事業を活用するなど、組織率 UP に向けた取組みを行う。 ・企業と連携した防災訓練の取組み、災害協定の拡充など。 ・消防法に基づいた消防組織の設置とは別に、民間企業消防協力隊の組織化に向けた取組みを検討していく(組織の役割、連携内容、支援の方法など)。	[内容] ・自主防組織の拡充 ・自主防災組織補助金交付 ・防災士育成補助金交付 ・災害時応援援助協定 ・企業、団体等と連携した総合防災訓練 [結果] ・自主防災組織設置のお願い (区長会総会) ・自主防災組織補助交付…4 団体 (認定総数 6 団体) ・防災士育成補助交付…4 人 (資格取得者 40 名) ・災害時応援協定新規締結…1 団体 (総数 21 団体) ・企業、団体等による市総合防災訓練への参加…8 団体(公共団体を除く)	30. 0%	・組織化の促進	
平成29年度	・自主防災組織の拡充について自治総合センター				

	の助成事業を活用するなど、組織率 UP に向けた		
	取組みを行う。		
	・企業や民間団体と連携した防災訓練の取組み、		
	災害協定の拡充。		
	・企業と連携した防災訓練の取組み、災害協定の		
	拡充など。		
	・消防法に基づいた消防組織の設置とは別に、民		
	間企業消防協力隊を組織化し、構築する。		
平成30年度			
平成31年度			

施策コード	4-3-2											
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	-	年度是	引計画	H27	H28	H29	H30	H31			
施策	災害に備えたまちづくり	年 度	調査	・研究								
施 策 名	災害マップづくり(危険個所・災害発生時の避難等)	別	検	討								
施策推進部署	総務課	計画	実	施								
関連部署	消防総務課	I	評	価								
現在の課題	危機管理の意識を高め、災害に対応した体制の整備など、防災に強いまちづくりが求めら	れて	いる。									
必要な対応	安心して住むためには地域の実情を把握することが大切であることから、地域住民による災害危険マップの作成を支援する。 特に狭あい道路や崖地等の物理的な危険な箇所に加え、一人暮らしの高齢者や障害者等の災害時の避難において支援が必要な人を把握し、その対策の検討を促す。 ・地域コミュニティ単位のマップ作り(一人暮らし確認含む。)											

項目	25	% 50	75	%	KPI (H31)
達成度					
年度					マップ作成コミュニティ 20 団体
結果					マック作成1ミュー71 20 四本
達成度説明					

項目		25%	ó	50%	75	%	必要な対応
H27 進捗度							-
H28 進捗度			60. 0%				
H29 進捗度							
H30 進捗度							
H31 進捗度							
	年度	取	り組み実施		取り	組み予定	・地域コミュニティ単位の
	H27						マップ作り(一人暮らし
進捗状況	H28	・先進地事例調査 ・自主防災組織との連 ・モデル地区構築の検			・防災マップの作成経費 ・作成した地区防災マッ		確認含む。)
	H29				・先進事例調査 ・自主防災組織との連携 ・モデル地区の選定	ii 5	

	・モデル地図 ・支援制度 <i>の</i>	
	H30	
	H31	
	H28…先進地事例調査、自主防災組織との連携、モデル地区構築の検討に取	
説明	成、作成した地区防災マップの情報共有(HP 等)が未実施となっている	ため 60.0%とした。(3 項目÷5 項目=
	60. 0%)	

項目		平成 2	7 年度			平成2	8年度			平成29年度			平成30年度				平成31年度			
垻 日	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究												>								
先進地事例調査																				
検討												\rightarrow								
モデル地区の選定																				
支援制度																				
実施準備													\rightarrow							
モデル地区説明会																				
実施																				\rightarrow
講習会・まち歩き																				
マップ作成・周知																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度			_		
	・各地区において、防災マップの作成に関する経	[内容]			
平成28年度	費の助成。	• 先進地事例調査	0.0%		
十八〇十尺	・作成した地区防災マップの情報共有(HP等)。	・自主防災組織との連携	0.0%		
		・モデル地区構築の検討			
	・モデル地区の選定、打診				
平成29年度	・支援制度の検討				
	• 先進事例調査				
平成30年度					
平成31年度					

施策コード	4-4-1												
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	/ -	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31				
施 策	環境に配慮した暮らしやすい環境づくり	年度	調査・	研究									
施 策 名	住居の確保(再掲)	別	検	討									
施策推進部署	政策経営課	計画	実	施									
関連 部署		1	評	価									
現在の課題	地域に豊かな自然環境を有しているが、それを活かした土地利用をしていない。												
必要な対応	現在実施している空き家バンク制度の助成対象の拡充等を図り、良質な空き家を確保するとともに、情報提供を強化しUIJターンで新たに住居を求める人たちの定住を促進する。また、活用できそうな空き家の掘り起しについて、地域住民との協力体制を構築する。 ・空き家バンク物件修繕補助(現行 20 万円上限)の拡充・空き家バンク物件募集(ポスター・チラシ・広告等)・地域住民の協力による空き家の掘り起こし												

項目	25	% 50	75	i%	KPI (H31)
達成度	20. 0%				
年度	H27				 空き家バンク成約数 20 件
結果	4 件				至さ家ハング成制数 20 件
達成度説明	H27…4 件÷20 件=20.0%				

項目		25%	6 50)% 75	5%	必要な対応
H27 進捗度				100. 0%		
H28 進捗度			60. 0%			
H29 進捗度						中七字·×、5 悔此攸维士
H30 進捗度						・空き家バンク物件修繕補
H31 進捗度						助(現行 20 万円上限)の 拡充
	年度	取	り組み実施	取り	・空き家バンク物件募集	
進捗状況	H27	・空き家バンク物件修繕補助の実施 ・空き家バンク物件募集(納税通知書に同封)				(ポスター一、チラシ、広告等) ・地域住民の協力による空
	H28	・空き家バンク物件修繕補助の実施 ・空き家バンク物件募集(納税通知書に同封) ・ふるさと回帰支援センターとの連携		・空き家バンク物件修繕・空き家の掘り起こし	き家の掘り起こし	
	H29			・空き家バンク物件修繕		

	・空き家バンク物件募集 ・ふるさと回帰支援センターとの連携 ・空き家の掘り起こし	
	H30	
	H31	
説明	H27…空き家バンク物件修繕補助(地方創生先行型交付金)及び物件募集に取り組んだため 100.0%とした。 H28…空き家バンク物件募集等に取り組んだが、空き家の掘り起こし等が未実施となっているため 60.0%とした。 (3 項目÷5 項目=60.0%)	

項目	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度				平成31年度						
供 日	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1–3
調査・研究												\longrightarrow								
危険家屋の調査																				
潜在空き家の分析																				
実施																				\leftarrow
物件募集																				
物件修繕補助																				
ふるさと回帰センター連携																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action)	改善等
	【地方創生先行型交付金活用】	[内容]		・空き家バンク登録物		
平成27年度	H27 KPI…移住者 5 人・2 世帯	・空き家バンク物件修繕補助交付		件の掘り起こし		
		・募集チラシの配布(納税通知書同封)	20.0%			
		[結果]				
		・成約数4件、移住者7人(2世帯)				
	・地元住民の協力を得ながら、空き家情報を把握	[内容]				
	し、空き家バンク物件登録数を増やす。	・空き家バンク物件修繕補助交付				
	・また、県外からの転入者を増やすため、ふるさ	・募集チラシの配布(納税通知書同封)				
平成28年度	と回帰支援センターとの連携など、首都圏にお	・社総交を活用して危険家屋の調査を実	20. 0%			
十八〇十尺	いて本市のPRを実施していく。	施する。(予定)	20.0%			
	・リフォーム助成金の拡充の検討。	[結果]				
	・危険家屋の調査などにより空き家の掘り起こし	• 登録件数…1 件				
	を実施する。	•成約件数…0件				

平成29年度	・地元住民の協力を得ながら、空き家情報を把握し、空き家バンク物件登録数を増やす。 ・また、県外からの転入者を増やすため、ふるさと回帰支援センターとの連携など、首都圏において本市のPRを実施していく。 ・リフォーム助成金の拡充の検討。 ・危険家屋の調査などにより空き家の掘り起こしを実施する。		
平成30年度			
平成31年度			

施策コード	4-4-2								
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	-	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	環境に配慮した暮らしやすい環境づくり	年 度	調査・	研究					
施 策 名	エネルギーの地産地消	別	検	討					
施策推進部署	政策経営課	計画	実	施					
関連部署	環境保全課 地方創生・事業推進担当		評	価					
現在の課題	エネルギーの分散化が求められる中、エネルギーの地産地消に向けた取組みから地域のセ	キュ	リティ	を高め	るといっ	った観点	も必要	である。)
必要な対応	バイオマス等の再生可能エネルギーを活用した地域づくりを推進する。 ・再生可能エネルギー活用の啓発								

項目	25	% 50	75	5%	KPI (H31)
達成度					五人可能エネルギ 佐部
年度					再生可能エネルギー施設
結果					1 か所 実験地域の設定 1 か所
達成度説明					天殿地域の設定「かり

項目		25	%	50%	75	%	必要な対応
H27 進捗度							
H28 進捗度			50. 0%				
H29 進捗度							
H30 進捗度							
H31 進捗度							
	年度]	取り組み実施		取り	組み予定	
	H27						- 再件可能エネルギー活用
	H28	先進地事例の調査	や研究		・専門機関との協議	・再生可能エネルギー活用 の啓発	
					・専門機関との協議		の合光
進捗状況	H29				・先進地事例の調査や研	T 究	
	1129				・レジリエンス機能を踏	沓まえた再エネ活用計画等 <i>の</i>	
					策定検討		
	H30						
	H31						
説明	H28··· <i>5</i>	先進事例の調査や研究	に取り組んだが、専門機関	見との	協議が未実施となっている	ため 50.0%とした。(1 項目	

-		
	A A	
	· 2 · A · D · C · D · D · D · D · D · D · D · D	

項目	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度				平成31年度						
以 日	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究												^								
勉強会·研修																				
視察																				
検討												\uparrow								
レジリエンス機能																				
再工ネ活用計画																				

年度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度			_		
平成28年度	・地域資源を活用した再生可能エネルギーの活用 に向けた取組みとして、先進地事例の調査や研 究。(生ごみを活用したメタンガスの生成による	[内容] ・当面は研修への参加や勉強会の開催などにより、レジリエンス機能を含めた	0.0%		
	バイオマス発電など) ・専門機関との協議。	調査研究を継続していく。			
平成29年度	 ・地域資源を活用した再生可能エネルギーの活用に向けた取組みとして、先進地事例の調査や研究。(生ごみを活用したメタンガスの生成によるバイオマス発電など) ・先進事例等の視察研修の実施。 ・レジリエンス機能を踏まえた再エネ活用計画等の策定を検討。 ・専門機関との協議 				
平成30年度				·	
平成31年度					

施策コード	4-4-3								
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	—	年度是	別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	環境に配慮した暮らしやすい環境づくり	年 度	調査	▪研究					
施 策 名	田舎暮らしの良さ、自然との触れ合いの場の提供	別	検	討					
施策推進部署	政策経営課	計画	実	施					
関連部署	農業委員会農林水産課	1	評	価					
現在の課題	地域に豊かな自然環境を有しているが、それを活かした定住促進施策を実施していない。								
必要な対応	スローライフを好む人の移住・定住を促進するため、農地のあっ旋や営農の支援を行う。 ・小型農機具等の購入補助 ・農地あっ旋の拡充								

項目	25	% 50	75	%	KPI (H31)
達成度					
年度					 補助件数 12 件
結果					補助件数 2 件
達成度説明					

項目		25%	50%	75	5%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度		66. 7	%			
H29 進捗度				`		
H30 進捗度						
H31 進捗度						
	年度	取り組み	€施	取り	組み予定	
	H27					・小型農機具等の購入補助
	H28	・空き家バンクとの連携		・農地のあっ旋、小型農	農機等の助成制度を構築	・農地あっ旋の拡充
進 進 進 歩 状況	1120	・空き家バンク物件募集(納	税通知書に同封)			
進抄扒沉	H29			・法人(企業等)の参え	入支援等で農地関連の方向性	
	1129			を踏まえて、具体的な	ょ施策の検討を実施する。	
	H30					
	H31					
説明	H28… <u>3</u>	2き家バンクとの連携などに取	り組んだが、農機等の	助成制度構築が未実施とな	っているため 66.7%とした。	

(2 百日 - 2 百日 - 66 7以)	
(2 項目:3 項目=66. /%)	

項目	平成27年度				平成28年度			平成29年度			平成30年度				平成31年度					
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
検討												\rightarrow								
具体的な就農支援																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度					
平成28年度	・移住・定住を促進するため、農地のあっ旋、小型農機等の助成制度を構築、また、空き家バンクとの連携により、首都圏を中心に二地域居住も視野に入れた対象者の募集を行う。		0. 0%		
平成29年度	・法人(企業等)の参入支援等で農地関連の方向 性を踏まえて、具体的な施策の検討を実施する。				
平成30年度					
平成31年度					

施策コード	4–5–1								
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	+	年度別	川計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	公共交通ネットワーク等の充実	年度	調査・	研究					
施 策 名	通学しやすい環境づくり	別	検	討					
施策推進部署	政策経営課	計画	実	施					
関連部署	まちづくり計画担当	1	評	価					
現在の課題	多くの世代を通じて、交通に不便を感じている人が多い。								
必要な対応	通学に係る経済的負担や送迎を軽減するため、通学定期券の助成を行い、あわせて公共交 ・通学定期券の助成(再掲)	通の	利用促:	進を図	る。				

項目	25	% 50	75	%	KPI (H31)
達成度					
年度					6~23 歳人口割合 16.8%の
結果					維持(再掲)
達成度説明	H28…7, 153 人÷42, 761 人=	16. 7%			

項目		25%	50%	75%	必要な対応
H27 進捗度					
H28 進捗度			100.0%		
H29 進捗度					
H30 進捗度					
H31 進捗度					
	年度	取り組み実施		取り組み予定	・通学定期券の助成(再掲)
	H27				・ 通子足別分の切成(再掲)
進捗状況 進捗状況	H28	通学定期券助成制度の制度設計	-		
進沙仏流	H29		・通	査学定期券助成制度の実施	
	H30				
	H31				
説明	H28···耳	取り組み項目を実施しているため1	00.0%とした。		

1百 日	項目 平成27年度		7 年度		平成28年度					平成29年度			平成30年度				平成31年度			
以 日 日	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究							\rightarrow													
通学定期助成																				
検討							\longrightarrow													
通学定期助成																				
実施準備								\rightarrow												
通学定期助成																				
実施																				\rightarrow
通学定期助成																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check)	達成度・課題	(Action) 改善等
平成27年度			_		
平成28年度	・学生を対象とした通学定期券の助成制度を創設 (H28 年度に制度設計)	[内容]・通学定期券の助成制度について調査研究やJR等との協議を経て具体的な制度設計中。[結果]	0. 0%		
平成29年度	・学生を対象とした通学定期券の助成制度の運用 開始				
平成30年度					
平成31年度					

施策コード	4–5–2								
基本目標	安心な暮らしを守り、地域と地域をつなぎ、定住を促進する	<i>_</i>	年度是	別計画	H27	H28	H29	H30	H31
施策	公共交通ネットワーク等の充実	年 度	調査	研究					
施 策 名	生活利便性の向上	別	検	討					
施策推進部署	まちづくり計画担当	計 画	実	施		1			
関連部署			評	価					
現在の課題	多くの世代を通じて、交通に不便を感じている人が多い。								
必要な対応	市内において安心して生活ができるよう、公共交通網の充実を図る。特に駅周辺と集落地・市内の公共交通網の充実(市内循環バスとデマンド型タクシーの運行)・神立駅のハブ化 ・新規バス路線の設置 ・常磐線特急・快速等の神立駅増便の要望	域の	アクセ	ス強化	に取組る	.			

項目	25	% 50	75	5%	KPI (H31)
達成度					
年度					 新規バス路線 1 路線新設
結果					新規バス路線 1路線新設
達成度説明					

項目		25	% 50	75	5%	必要な対応
H27 進捗度						
H28 進捗度				100.0%		
H29 進捗度						ま中のハサカ海岬の方虫
H30 進捗度						・市内の公共交通網の充実 (市内循環バスとデマンド
H31 進捗度						(巾内値環ハスとディント 型タクシーの運行)
	年度	Į	取り組み実施	取り	組み予定	・神立駅のハブ化
	H27	・市内公共交通網の ・JR常磐線神立駅	充実 の利便性向上の要望			・新規バス路線の設置・常磐線特急・快速等の神
進捗状況	H28	・地域公共交通再編 ・デマンド型タクシ 区域運行(千代田 ・霞ヶ浦広域バス運	一の運行 地区・霞ヶ浦地区)			立駅増便の要望

		・常磐線JR神立駅の利便性向上の要望活動		
	H29		・既存バス路線再編の調整・神立駅アクセス路線導入の検討	
			・デマンド交通再編の調整 ・常磐線JR神立駅の利便性向上の要望活動	
	H30			
	H31			
説明	Н28…∄	取り組み項目(地方創生加速化交付金)を実施しているた	め 100.0%とした。	

· 古 · 口		平成 2	7 年度			平成2	8 年度			平成2	9 年度			平成3	O年度			平成 3	1 年度	
項目	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3	4-6	7–9	10-12	1-3
調査・研究								\rightarrow												
再編実施計画策定																				
検討											\rightarrow									
新規バス路線																				
乗合タクシー再編																				
霞ヶ浦広域バス拡充																				
実施準備														\rightarrow						
新規バス路線																				
乗合タクシー再編																				
霞ヶ浦広域バス拡充																				
実施																				\rightarrow
新規バス路線																				
乗合タクシー再編																				
霞ヶ浦広域バス拡充																				

年 度	(Plan) 取組計画	(Do) 実施内容・結果	(Check) 達成度·課題	(Action) 改善等
平成27年度		[内容]・市内公共交通網の充実・JR常磐線神立駅の利便性向上の要望活動[結果]・公共交通網形成計画策定(3/15)	・利用者の増加 —	

		・デマンド型タクシーの運行			
		延べ 10.061 人			
		かすみがうら地域…4, 681 人			
		・常磐線整備促進期成同盟会(常磐線の			
		ダイヤ改正等に関する市町村要望)			
		(2/1…東日本旅客鉄道㈱水戸支社)			
		(2/9…東日本旅客鉄道㈱)			
	・地域公共交通再編実施計画の策定	[内容]		・再編事業による市内	・交通事業者との連携強化
平成28年度	・神立駅を中心とした公共交通網の再編成を行う。	・市内公共交通網の充実		交通網の改善	
	・路線網の再編やデマンド交通の見直しなど、地	[結果]			
	域公共交通ネットワークの再構築を行う。	・地域公共交通再編実施計画の策定	0.0%		
	・常磐線JR神立駅 利便性向上の要望活動(特	・デマンド型タクシーの運行			
	急の停車など)	区域運行(千代田地区・霞ヶ浦地区)			
		・霞ヶ浦広域バス運行事業費補助			
平成29年度	・既存バス路線再編の調整				
	・神立駅アクセス路線導入の検討。				
	・デマンド交通再編の調整。				
	・常磐線JR神立駅 利便性向上の要望活動(特				
	急の停車など)				
平成30年度					
平成31年度					